

婦人関係資料シリーズ

国際資料 No. 59

日本婦人へのメッセージ

—第十三回婦人週間を祝って—

Messages from Abroad for The Thirteenth Women's Week

61

労働省婦人少年局

Women's and Minors' Bureau
Ministry of labour
Japanese Government

は し が き

労働省が主催して4月10日から16日まで行われた第13回婦人週間に際して、例年の如く諸外国から数多くのメッセージが送られて来ました。それらは、世界の27の国々の著名な個人や団体からのもので、約90通を数え、在日各国公館を通じ、又は直接婦人少年局長あてに送られてきました。

日本婦人の向上が、この国の民主主義と世界の平和を推進する力として、多くの国々の関心と期待を集めていることを示すこれらのメッセージは、日本婦人にとって大きな刺激となるばかりでなく、広く日本社会一般の国際的関心の促進に役立つものと考えられますので、婦人週間中に全国婦人会議の会場に展示した他、和訳を印刷して報道関係機関に配付しましたが、更に広く一般の便宜に供するため、ここにその全文(原文及び和訳)を集録しました。

婦人の地位及び国際理解に関心をおもちの各位の御参考になれば幸いです。

1961年6月

労働省婦人少年局長

谷 野 せ づ

目 次

1.	オーストラリア	頁 1
	ヘレン・H・ウィルソン女史	
	オーストラリア大学婦人協会	
	オーストラリア婦人有権者同盟(電報)	
	オーストラリア全国婦人協議会	
	オーストラリア同一賃金連合委員会	
2.	オーストリア	2
	オーストリア婦人協議会	
	オーストリア人民党オーストリア婦人運動連盟	
	オーストリア社会党婦人中央委員会	
3.	カンボジア	3
	カンボジア社会労働省局長フィラウン・ワレツチ女史	
4.	カナダ	4
	カナダ労働省婦人局長 マリオン・V・ロイス女史	
	マーガレット・E・アシユダウン女史	
	カナダ経営助手・私設秘書協会サーニア支部	
	カナダ有職婦人クラブ連合会国際協力局	
	カナダ有職婦人クラブ連合会	
	カナダ・リーサイド有職婦人クラブ	
	カナダ・北トロント有職婦人クラブ	
	カナダ・オンタリオ州・サーニア有職婦人クラブ	
	カナダ・サドベリー有職婦人クラブ	
	カナダ大学婦人協会	
	カナダ全国婦人協議会	
	カナダ・婦人キリスト教矯風会	
	カナダ国際連合協会・ユネスコ国内委員会	
	カナダ婦人の声中央委員会	
	国際婦人平和自由連盟・カナダ・トロント支局	
	カナダYWCA	
	国際ゾンタ・クラブ・カナダ・オンタリオ州・サーニア支部	

5. セイロン	10 頁
全セイロン婦人会議	
セイロン婦人協議会	
セイロンYWCA	
6. 中華民国	11
中華婦女反共抗ソ連合会	
7. チェコスロヴァキア	12
チェコスロヴァキア婦人委員会(電報)	
8. デンマーク	12
デンマーク全国婦人協議会	
9. フィンランド	12
フィンランド全国婦人協議会	
10. フランス	13
フランス全国婦人協議会	
11. ドイツ	13
ドイツ国会議員、大学婦人協会副会長エリザベート・シュヴァルツハウプト女史	
アグダ・ストーティンガー女史	
ドイツ有職婦人連盟	
ドイツ大学婦人協会	
12. インド	14
インド外務次官・ラクシユミ・メノン女史	
インド政府中央社会福祉委員会委員長ドルガバイ・デシユムグ夫人	
全インド婦人会議	
13. イラク	16
イラク・共和党婦人部(電報)	
14. イスラエル	16
イスラエル婦人協議会(電報)	
イスラエル婦人団体協議会	
イスラエル国際ユダヤ民族主義婦人協会	
15. ヨルダン	17
ヨルダン・ナブラス婦人社会福祉協議会	
ヨルダン・アムマン婦人団体連盟(電報)	
ヨルダン・アムマン婦人擁護会(電報)	
16. オランダ	18
オランダ大学婦人協会	

17. パキスタン	18 頁
全パキスタン婦人協会	
18. ポーランド	18
ポーランド婦人連盟	
ポーランド婦人連盟協同組合部	
19. ポルトガル	20
ポルトガル文部省母親教育局長・ベンハ・ガルシア伯爵夫人	
20. スペイン	20
スペイン文化社会福祉婦人会	
21. スウェーデン	21
スウェーデン・フレデリカ・ブレーマー協会	
スウェーデン・全国婦人協議会	
22. スイス	21
スイス全国婦人協議会	
23. トルコ	22
トルコ婦人連合中央事務局	
24. イギリス	22
イギリス・全国婦人市民協会	
イギリス・全国家事使用人協会	
イギリス・全国婦人協議会	
25. アメリカ合衆国	23
アメリカ合衆国高等巡回裁判所判事・フローレンス・E・アレン女史	
クリスチヤン・サイエンス・モニター紙婦人記者・ジェシー・アッシュ・アーン ト女史	
アメリカ合衆国下院議員・フランシス・P・ボールトン女史	
作家、S・K・バドバー夫人	
アメリカ合衆国労働省婦人局長・エスカー・ピーターソン夫人	
アメリカ合衆国上院議員、マーガレット・チエイ・スミス女史	
弁護士　メアリー・H・ツーマイマン女史	
エセル・B・ウィード女史	
アメリカ合衆国・大学婦人協会	
アメリカ合衆国大学婦人協会・婦人の地位委員会	
アメリカ合衆国・フレンド・サービス委員会	
チャリー・チャップマン・キャット記念財団	

アメリカ合衆国・国際婦人通信委員会(コミティー・オブ・コレスポンドンス)	頁
アメリカ合衆国・農村婦人協議会	
アメリカ合衆国・婦人クラブ総連合	
アメリカ合衆国・全国カソリック婦人協会(電報)	
アメリカ合衆国婦人有権者同盟	
アメリカ合衆国全国有職婦人クラブ連盟	
アメリカ合衆国全国婦人協議会	
ロスアルトス・クオーター・クラブ	
アメリカ合衆国YWCA国内委員会	
26. ソヴィエト連邦	30
ソヴィエト婦人委員会	
27. ユーゴスラヴィア	30
ユーゴスラヴィア児童福祉協会	
ユーゴスラヴィア婦人協議会	
28. 国際的団体	32
国際婦人協議会	
国際有職婦人クラブ連盟	
国際婦人法律家協会	

日本婦人へのメッセージ

配列は英語による国名のアルファベット順により、一つの国から数通あるときは、個人を先に団体をあとに、全国的団体を先に、それぞれアルファベット順によつています。

1. オーストラリア

◎作家 ヘレン・H・ウィルソン女史

日本の婦人週間に御挨拶を申し上げますのを光榮に存じます。

日本婦人すべての生活を、特に次の世代の成長のために向上させようという皆様の人間性に充ちた御努力が大きな御成功をおさめられます様お祈り申し上げます。

次の世代の「知性と人格」の育成に母親の与える大きな影響を見逃す事は出来ないと思います。

何年にも亘る皆様のたゆまぬ御運動に敬意を払いますと共に日本婦人の勇気と知性に声援をお送り申し上げます。

◎オーストラリア大学婦人協会

名誉書記長 レフ・ニューマン女史

4月に日本で婦人週間が行なわれます由、オーストラリア大学婦人協会から御挨拶を申し上げ、現在の日本社会で婦人が果しておられる役割に御同慶の意を表します。

◎オーストラリア婦人有権者同盟(電報)

会長 コールマン女史

婦人参政権獲得を記念する婦人会議の御成功をお祈り致します。

◎オーストラリア・全国婦人協議会

名誉書記 L・M・フーパー女史

オーストラリア全国婦人協議会より、日本の皆様が1946年以来国民生活の向上に貢献され、公共の利益のためにつくされた驚くべき進歩に対しお祝いを申し上げます。

私達は同じ民主主義國家の一員である婦人として皆様の御活動に関心を払い共感を覚えるものであります。

第13回婦人週間が大きな成功をおさめられますようお祈りいたします。

◎オーストラリア同一賃金連合委員会

書記 R・M・ロス女史

遇然にも丁度同じ週間が私共の「全国同一賃金週間」運動に当つて居ります。

私共の政府では未だ「職種別賃金」制を採用して居りませんので、オーストラリアは他の点では進んでいてもこの点に関しては世界の国々の中でも後進の部類に入ります。

私共は御期待にそえるよう西部オーストラリアの婦人団体に皆様の御運動のことをできるだけひろめようと思つて居ります。私共の委員会のもとにある18の団体に代つて皆様の御努力が大きな成功をおさめられます様お祈り致します。

私達も私達の國の婦人の地位向上のために働いて居りますので皆様と心を一つにしており、日本の同じ目的のために働いておいでになる方々すべてに私共の挨拶をお伝え下さい。

2 オーストリア

◎オーストリア婦人協議会
オーストリア婦人運動連盟

会長 ヘンリエッテ・ハイニシュ夫人

日本の皆様に御挨拶を送る機会をえたことは喜びにたえません。私どもは貴国におけるすばらしい進歩の状況をうかがい大へん興味をおぼえました。教育の問題はどここの國でも大きな問題であると存じます。子供たちはこの社会の新しい急速な変化に適応しなければならないと同時に、古いものの中にある真の価値を見失つてはならないと存じます。

選からず日本の婦人団体からも国際婦人協議会に代表を送られることと存じております。

◎オーストラリア人民党

オーストリア婦人運動連盟

会長 ロラ・ゾラニル女史

外務部長 ギルダ・ゲッツェン女史

オーストリア人民党の婦人たちから、日本の第13回婦人週間に参加される皆様に心からの御挨拶をお送りします。

皆様は今年の会議のテーマとして、若い世代の育成の問題をとりあげられましたが、これは全世界の婦人が等しく関心をもつ問題であります。

若い世代を立派に育て上げることは私どものさし迫つた課題であります。これは女性の知性と全創造力を民族全体のために、その未来の幸福のために奉仕させるという意味で女性にとつて又母親にとつて最高の使命であります。

今年の日本の婦人週間の会議とその結果から皆様のお仕事に新しい刺激と新たな成果がも

たらされますことをお祈りいたします。

◎オーストリア社会党婦人中央委員会

名誉委員長 Y・プロフト女史

委員長 レヴアフルメン女史

書記長 R・メール女史

オーストリア社会党婦人中央委員会を代表して友情をこめて御挨拶を送り、婦人週間の御成功を心からお祈りします。

残忍な第二次世界大戦の後いまなお私どもは苦難にみち対立にみちた世界に生きております。

戦争の傷手はいまだ癒えず、とくに広島や長崎ではいまだ生々しい傷あとをのこしています。

私達は原爆のために今なお苦しんでおられる被災者の方々を思い、心から同情を禁じえません。

私どももまた、今の若い世代がやがて大人となつたとき、すべての他国民とともに平和と友好の裡に生きていくことができるようにと願ひ、そうなるように彼らを教育することを私どもの最も神聖な任務と考えます。

私ども婦人と世界中の母親にとつてこの上なく美しい任務は、青少年に人の尊厳と権利の尊重を教えることであります。

皆様の婦人週間と日本の青少年のためのお仕事成功されますことをお祈りします。

3 カンボジア

◎カンボジア社会労働省局長

フィラウン・フレッツチ女史

日本の皆様に第13回婦人週間が御成功なさいます様心からお祈り申し上げます。

私は皆様の美しい国日本へ二度参りましたが、日本の人々が偉大なしつかりした頭の良い国民であり、日本の婦人が大変良い方達だと思いました。

4 カ ナ ダ

◎カナダ 労働省婦人局長

マリオン・V・ロイス女史

再び婦人週間がめぐって参りましたが、例年の如く、毎日の生活に新しい局面をつけ加える様なテーマをお選びになつた事に感心して居ります。

それぞれの価値感の如何にかかわらず、人生の自然として、私達は次の世代のために役立っているのです。ですから皆様が日本婦人の、また全世界の婦人の前にお示しになつた婦人の教育的役割という極めて重要な概念は、人々の心情に強く訴えるものでありましょう。

カナダの婦人達に日本の婦人週間のことを知らせるために出来るだけのことを致したいと思ひます。

御成功をお祈り致します。

◎カナダオンタリオ州有職婦人クラブ副議長

マーガレット・B・アシュダウン女史

1946年の日本婦人の参政権獲得を記念して労働省の主唱で4月10日より開催される第13回婦人週間に御挨拶を申し述べさせていただきます。

私は1958年の7月を日本で過ごさせて載しました。

帰国致しましてから美しい日本の国と皆様の御親切と礼儀正しさについて機会ある毎に話して居ります。これ迄日本について、日本の人々や人類の福祉のために日本の方々がつくして来られた御業績などについて、私はもう84回も講演した事になります。

日本に参りましたのはユネスコ東西文化使節団の一員としてカナダ有職婦人クラブを代表してのことでありましたが、婦人団体を代表して参りましたので、日本の婦人が何をして居られるかに深い関心を持つて居りました。その際日本の皆様の御運動の成果に感心しましたが、今後も一層の御進歩を遂げられる事と思つて居ります。

私は日本の皆様の1人1人がこの困難な時代に婦人の肩にかゝっている責任を立派にお果たしになれますようお祈りして居ります。私はまた皆様が日本の国と皆様の家族の幸福のために出来る丈大きな貢献をなさる様あらゆる機会を利用して自分自身を高め続けておいでになる事を希望して居ります。

日本の話を私共の国で致して居りますと、日本の皆様にカナダの婦人が深い尊敬と敬意を払つている事に気がつきます。

婦人週間に際して、カナダの全婦人に代つて御挨拶をお送りする次第でございます。

◎カナダ・経営助手・私設秘書協会サニーア支部

会 長 ヘレン・B・ローリー女史

経営助手・私設秘書協会サニーア支部から第13回婦人週間に際して日本の皆様にご挨拶をお送りいたします。

日本の皆様が各方面で婦人の地位の向上をとげられたことをお祝い申し上げます。

皆様がどの何にもまして意義のあるお仕事に、今後ますます成功をおさめられますようお祈り申し上げ、私どもは皆様のことを決して忘れないことをお約束いたします。

私どもはお互いにそれぞれの分野での努力を認めあいたいと思つておりますが、この気持は私どもを一つのきずなで結び付けるでありましょう。

◎カナダ有職婦人クラブ連合会国際協力局

議長(上院議員) マリエル・マツカーサ・フアーガスン女史

婦人週間という週間を開催なさいます事は、大変に良いお考えであり、お選びになつた今年の「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマは極めて適切なものと存じます。

このテーマは、子供や若い人達に本当の民主主義を理解させ、またこの急速に変化する世界での責任を理解させる上に、婦人がどんな大きな貢献をすることができるかを再認識させるものであります。

カナダ有職婦人クラブ連合会国際協力局の議長として、婦人週間が御成功なさいます様お祈り致します。

◎カナダ有職婦人クラブ連合会

前会長 イサベル・メンジイス女史

日本婦人の参政権行使を記念する週間に際して御挨拶をお送りすることをうれしく存じます。

有職婦人クラブは日本にも支部がありますので、私どもは日本の皆様のお仕事にとくに関心をもつております。カナダの有職婦人クラブも日本の有職婦人クラブとともに国際有職婦人クラブ連盟の支部として、全世界の婦人の地位の向上を目的としております。

第13回婦人週間の御成功をお祈りします。

◎カナダ・リーサイド有職婦人クラブ

会長 ルース・B・デイランド女史

私共の国カナダのトロントで有職婦人クラブ地方会議が開かれました折に、日本の婦人週間のことを聞きましたので、リーサイド有職婦人クラブの会員を代表して御計画がすべて成功なさいます様お祈り申し上げる次第であります。

婦人週間のテーマは「次の世代の成長への婦人の貢献」ということだそうですが、かりに世界の誰がこのテーマを選んだとしても歓迎されるものであると存じます。というのはこのテーマは極めて意欲にみちたものであり家庭の主婦にとつても外に出て実務にたずさわる婦人にとつても私共すべての心に訴えるものであるからであります。私達は各々がこの世界をより良いものとするために各人の役割を果たさねばなりません。そうするためにグループを作つてお互の問題を討論し満足できる解決を見出すのもよい方法であります。

リーサイド・クラブには現在のところ27人の会員しか居りませんが、皆協力し合つて頼まれたことは何でもしようとしております。毎年2月には奨学金を出すために資金をつのが私共の大きな仕事で、高等学校を出て大学に進む若い婦人1人にこれを与えて居ります。

更にリーサイド・クラブでは、この辺一帯の8つのクラブの委員が作つている会議で計画する様々な運動に活潑に参加して居ります。今月17日には「リーダーとなろうークラブ」で、地域で、公共の問題で、仕事で、世界の問題で」というテーマで地域会議をすることになつております。私達はこの5つの部会が有意義なものとなり会議員すべてが啓発的な意見をたゞかかわせるよう希んでおります。

私達はまた10月の有職婦人週間には実業界の有名な人々と私共の会員達とのパネル・ディスカッションをやりたいと思つております。一般の人々は大概有職婦人クラブが婦人にとつてどんなものであるか知らないでいるようですが、会員を増やすために、女性にとつても男性にとつても、これがためになるものだということを知らせなくてはならないと思つております。パネル・ディスカッションを成功させるためには前もつて多くの準備をせねばならないと思つておりますが、初期の目的に達成したいと思ひます。

最後にリーサイド・クラブでの会員よりよろしくとの伝言をお伝えしておきます。

◎カナダ・北トロント有職婦人クラブ

文書書記 アリス・ジョンソン女史

家庭にあるという立場から、当然婦人はこれ迄子供の性格に大きな影響を与えて参りましたが、婦人がより良い教育を受けるに伴つて、子供の育成という大切な義務も、もつと良く達成し得るようになって参りました。過去2、30年の間に多くの関々をおそつた社会的経済的変動に伴つて行われた婦人の解放は、もつと広い活動の分野を婦人に与え、今では婦人は各自の地域社会で指導を必要とする他の子供達に忠告を与える機会を得るとともに、こうして視野をひろめることによつてさらに有能となつています。

今日の子供達を責任ある民主的市民に育て上げるための努力はどんなものでも推奨されるべきであります。カナダ北トロントの有職婦人クラブ120名の会員を代表して婦人週間の御成功をお祈り申し上げる次第でございます。

◎カナダ・オンタリオ州サニーア有職婦人クラブ

文書書記 キヤサリーン・フレイザー女史

カナダ・オンタリオ州サニーア有職婦人クラブから四月の第13回婦人週間に御挨拶をお送りします。

日本の婦人の地位向上のために皆様がなさつておいでになる立派な御運動について何い大変嬉しく存じました。今後も一層の御発展をお祈り申し上げます。

◎カナダ・サドベリー有職婦人クラブ

文書書記 ガートルード・スミス夫人

4月10日にはじまる婦人週間に、サドベリー有職婦人クラブを代表してメッセージを差上げることを嬉しく存じます。

去る3月23日にクラブの会合をもちました際、貴局よりのお便りが話題に上り、出席者全員から貴国の皆様へのメッセージにかえて、一同がここに署名いたしました。

今後の御発展をいのり、又お便りをお待ちします。

◎カナダ大学婦人協会

国内婦人の地位委員会議長

マーガレット・E・マクレラン女史

カナダ大学婦人協会は日本の第13回婦人週間に際して再びメッセージをお送りすることを嬉しく存じます。

婦人はその特性によつて、若い世代の人格形成に多くの面で寄与しうると、私どもは考えておりますが、日本の皆様もまたこうした現代社会での重要な役割に注目されたことを知つてまことに心強く存じます。

日本の皆様は聡明な指導性と市民としての責任感によつて、青少年を次代のよき市民に育て上げる上に貢献されることと存じます。

婦人たちにそのもつ力を自覚させるための皆様の御努力がよき実を結びますようお祈りします。

◎カナダ全国婦人協議会

書記 F・R・ダミニ夫人

75万人の会員を代表してカナダ全国婦人協議会から第13回参政権獲得記念の週間に心からの御挨拶をお送り申し上げます。

日本の婦人はこの参政権を賢明に行使されて、多くの業績をあげて来られたのですが、また、私達も皆様とともに、子供の道徳的精神的強さが家庭に培われた道徳水準と模範によ

つて育成されるという事を考え、その責任をとらねばならないと思つて居ります。

今週間のテーマを大変結構なものと思いますと共に、これによつて皆様の思い通りの御成果をおさめられます様希んで居ります。

◎カナダ・婦人キリスト教矯風会

会 長 ケイト・ワトソン夫人

お手紙並びに婦人週間の行事計画を興味深く拝見しました。と申しますのは御存知のように婦人キリスト教矯風会は、婦人の地位ないしは婦人の社会的影響力ということに関連のあるあらゆる問題に常に大きな関心を払つて居るからであります。

会員を代表してごあいさつを送り、婦人週間の御成功を祈ります。

◎カナダ国際連合協会・ユネスコ国内委員会

議 長 ヘレン・タツカー夫人

カナダ国連協会とカナダユネスコ国内委員会は、1961年4月10日より16日まで開催される日本の婦人週間に心から賛意を表するものであります。

若い人々を次の自由な民主的世代へと育成する婦人の責任に皆様が着目された事は大変結構なものと存じます。

カナダ国連協会に所属しており、また特に1958年にユネスコ文化使節団として日本を訪問した私共は、日本で過ぎて戴いた楽しい日々常に感謝して居り、日本のユネスコ国内委員会の配慮でお目に掛つた女の方や男の方達にこの機会に御礼申し上げたいと思います。

◎カナダ婦人の声中央委員会

委員長 ヘレン・タツカー夫人

副委員長 J. デーヴィス夫人

「次の世代の成長への婦人の貢献」という今回の婦人週間のテーマは、大変積極的なものであり、カナダ全国2500人余の会員を代表する婦人の声委員会から御支援と共感をお送りしたいと思います。

あらゆる人種、信条、皮膚の色を問わず、全世界の婦人が手をつないで今回のテーマにあるような婦人の役割を果たすために、その特殊な責任を十分に自覚し、今日私達が直面している種々の脅威に対して、全人類を守るために力を合せる事はまさに私達共通の目標であると存じます。

人間に生命を与える役割をもつものとして婦人は、この特別な使命を果たすため、特殊な立場にあるのであります。

若い世代の人々の自覚を高め、独自の社会的責任を果たせるよう育成するという強調事項

は、私共の深い共感を覚える所であります。

婦人週間が大きな成功のうちに終わられます様お祈り致します。

◎国際婦人平和自由連盟カナダ・トロント支局

ライラ・I・ロビンズ夫人

婦人週間おめでとうございます。世界的組織をもち、日本を含めた大部分の自由諸国に支部をもつ国際婦人平和自由連盟は国際連合に諮問的地位を持つて居ります。数年前に日本を訪問致しました著名な会員にイギリス支部長のダーム・キャサリーン・ロンズデール女史があります。恐らく日本で開かれた御親切な歓迎会を覚えていられる方もおいでのことと思いますが、私共のカナダ・トロント支局を訪れた時にその事を話して感謝して居られました。婦人週間の御成功と婦人少年局のお仕事の御発展をお祈り申し上げます。

◎カナダYWCA

会 長 リリー・スミス夫人

カナダYWCAは、日本の皆様次第13回婦人週間をお祝いして心からの挨拶をお送りします。

◎国際ゾンタ・クラブ カナダ・オンタリオ州・サニーア支部

支部長 マーガレット・ブルムス夫人

4月の婦人週間に際しカナダの沢山の婦人団体に加わつてサニーアのゾンタ・クラブからも御挨拶申し上げたいと思います。「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマは結構なものと存じます。

この催しには多くの団体が参加します由、また東京の全国婦人会議に先立つて地方会議が開かれて地方の意見が中央に反映されるようになっていくということですが、これも大層良い計画と存じます。

皆様が日本の婦人の地位の向上を大いにすすめられたばかりでなく世界の国々にもよき模範を示しておられることは、私共にとつても誇らしき限りであります。

婦人週間が感銘深いものであり将来も成功のうちに終わられます様お祈りいたします。

5 セイロン

◎全セイロン婦人会議

議長 エズリン・デラニヤガラ女史

20の加盟団体をもつ全インド婦人会議は子供の福祉を図り、婦人の地位を向上させるために働いて居りますが、第13回婦人週間に御挨拶申し上げるのを光榮に存じます。

私達は日本の政府が子供をよき市民に教育することの重要性を認識され、この大切な仕事に婦人が特に意義ある貢献をする事が出来ると確信して居られるのを拝見して大変喜ばしいと思います。

日本の皆様に御計画と御希望が実現され成功をおさめられます様お祈り致します。

◎セイロン婦人協議会

会長 ヴァイオレット・ラジャパクセ夫人

「次の世代の成長への婦人の貢献」を強調する第13回婦人週間にさいし、セイロン婦人協議会より御挨拶申し上げます。

次の世代の育成のために果す母親の役割は日本や私共の国の様な民主主義国家においては極めて重要であります。私達は私共の子供の幼い判断力を養つて、将来起つて来るどんな問題にも直面出来るよき市民へと育成しなければなりません。母親の義務のうちで最も重要なものは子供達に私達の国の宗教的背景と利己的でない愛を教える事です。次の世代がこれらの二つの課題を身につければ、将来の世界に対して私達は立派な貢献をしたという満足感をもつ事が出来ましょう。

母親である日本の皆様が不屈不撓の精神をもつて御運動を続けられ、その御成果から立派な収穫を刈りとられます様お祈り致します。

◎セイロンYWCA

会長 アーネスト・ソイサ夫人

東洋の生活様式の急速な変化は次第に顕著になつて来、東洋諸国の民主主義の進展に伴つて起つて来る特殊な問題に対して殊に考慮を払わなければならなくなつてまいりました。これら諸国の婦人達の次の世代の成長に対する貢献はこうした関連から考えてみますと、非常に重要な意義があるといわねばなりません。

婦人がこの方面の国家の活動に積極的に参加する事の出来る方法はいろいろあります。まず重要な事は家庭にある母親の責任ということであります。国家の基礎となる単位としての家族にあつて、母親の子供に対する影響は、次の世代のものゝ考え方を形成する上に極めて

重要なものであります。次に、婦人教員も、特に人生の第一段階にある学童への影響が、永続的であるという意味で子供の人格形成という婦人の責任の一半をになつて居ります。福祉活動に参仕するという事も、婦人の価値ある貢献の一つであります。

これらのまたその他の方法を通して婦人は生活の各分野にあつて次の世代の国民精神を形成し、ひいては世界の運命を左右する上に大きな役割を果たして居ります。次の世代の成長への婦人の貢献という重要なテーマで討議の行なわれる第13回婦人週間では、以上述べた様な問題も必ず注目を集める事と確信致して居ります。

婦人会議が実り多いものであり、これによつて日本の婦人の地位の向上が一そう進められますよう、セイロン婦人を代表して心から御挨拶をお送り申し上げます次第であります。

6 中 華 民 国

◎中華婦女反共抗ソ連合会

本年4月10日より16日、日本労働省婦人少年局挙行の全国第13回婦人週間にさいし、中華婦女反共抗ソ連合会は自由中国の婦人を代表して、日本の婦人の方々に心からの敬意を表し、その会がすべて目的を果たすことができますことを御祝ひ致します。

貴会議の討論の主題は「つぎの世代の成長への婦人の貢献」であります。この問題は実に目下当面する極めて有意義のことからであります。いうまでもなく是は思想精神上あるいは物質環境上、日に日に複雑化していく社会にあつて、次の世代の育成に対して、私ども婦人の当面する重要な問題であります。中国の孔子は「修身齊家治國平天下」の道理を示し、またかつて中国国父孫中山先生は「社会の隆昌と墜落は、人心の振つているか衰えているかにかかると」という訓えをしていますのはいずれも私どもが次の世代の成長の問題に対して重くみていることを示すものであります。次代に対する高尚な人格の陶冶によつて邪悪な思想の誘惑を除くことは、再三私共の留意するところであります。

自由中国の婦人は最近は無縁のこと過去にも「幸福な家庭」の運動をつづけておりますが、其の目的及び重要な活動項目もまた、次代の養育問題に注がれております。このことは日本婦人の目下努力されていることと、図らずも一致したものといえましょう。

このほか私どもは、日本の婦人活動の発展に基づいてその社会的地位が益々高まり、既に十分な英知と能力を発揮し貴国社会の共同福祉に貢献していることを知つております。これは自由中国婦人が心からお祝をし感心している処であります。

7 チェコスロヴァキア

◎チェコスロヴァキア婦人委員会 (電報)

日本婦人の地位向上のための最大の行事であります第13回婦人週間に際し、チェコスロヴァキアの婦人を代表して御挨拶をおくりします。

皆様が婦人の平等をかちとる運動に成功をおさめられ、皆様の努力が幸福な生活と子供たちに平和の保証を打樹てられますようお願いいたします。

子供の教育のみならず世界平和と全民族の明るい将来のためにすべての母親と婦人が捧げる努力は必ずや豊かな実りをもたらすことと信じます。

皆様の今後の立派な御活動により御成果をお祈りします。

8 デンマーク

◎デンマーク全国婦人協議会

会 長 エルゼルネット・ロス女史

第13回婦人週間に際し、デンマーク全国婦人協議会よりお祝いを申し上げます。

これ迄の婦人週間も日本の婦人の公的生活への参加のために大いに役立たれたことと存じます。

日本婦人の労働市場での、また公的生活での活動とあわせて、皆様は次の世代の人々が良き市民として、私共の信ずる民主的理念を推し進めることが出来る様、その健康に身体的精神的成長に責任を持つて居られるのであります。

でありますから、殊更に今回の婦人週間が成功される様お祈り致します。

9 フィンランド

◎フィンランド全国婦人協議会

会 長 マルギット・ボルグ・サンドマン女史

書 記 サーラ・ランタネン女史

フィンランドの婦人を代表してフィンランド全国婦人協議会より第13回婦人週間に御挨拶申し上げます。

「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマは大層意義深いものと存じます。

私共の国はおたがいに地球の反対側にありますが、直面する諸問題は全く同じであるという事がこのテーマによつて分りました。

10 フランス

◎フランス全国婦人協議会

会長 M・H・ルフォーシュ夫人

日本婦人の参政権獲得を記念する第13回婦人週間に際し、フランス全国婦人協議会に加入して居ります私共フランス婦人会員より親しく御挨拶申し上げたいと存じます。

お運びになつた今回のテーマは全世界の婦人が大きな関心を寄せるものであると存じます。何故ならば現在の社会の変化は大変急速でありますので、世代間の溝があまり大きなものとならないよう私達の全力を傾けねばならないからであります。同時に私達は、若い世代の人達が私達の時代とは異つた世界に直面して行かねばならず、また若い人達のために私達の経験を次の世代の考えや必要に合わせて行かねばならないということを認めなくてはなりません。

婦人週間についてラジオ・フランスで放送して貰う様に出来るかと思ひます。催しが成功なさいます様お祈り申し上げますと共に私共の心よりの御声援をお送り申し上げます。

◎フランス・スカウト啓蒙運動連合会

婦人週間の御成功を心からお祈り申し上げます。

11 ドイツ

◎ドイツ国会議員・大学婦人協会 副会長

エリザベート・ジエヴァルツハウプト女史

第9回全国婦人会議に際し一言祝辞を申し上げます。私自身ドイツ連邦共和国国会議員であり、又ドイツ大学婦人協会の副会長をして居りますが、ともに全ドイツ婦人を代表して心からの御挨拶をお送り致します。

私は短い日本滞在中いろいろの事を見、経験いたしました。家庭、職場、政治の困難な問題と取り組んでいられる日本婦人の勇気ある姿は、必ずや全世界の女性の共感をよぶ事と存じます。徐々たる歴史の歩みではありましたが、とまれ、私共婦人は近代社会において新しい責任を担う事になりました。今日ほど女性と男性が力を併せて働くべき時はないと思われまふ。私共は新しい婦人の権利を放棄する事は出来ません。しかしまた、女性、家庭、子供が新しい社会に生きていく為になさるべき事が多いのを忘れてはなりません。それにはどうしたらよいか私共ドイツの女性もはつきりした答は持つて居りません。しかし世界のほとんどすべての女性が同じ問題に直面している事を知るのは無駄ではないと存じます。

◎アグダ・ストーテインガー女史

婦人週間に際し、心からの御挨拶をお送り申し上げます。

◎ドイツ有職婦人連盟

会長 キレ・ツオツケ女史

ドイツ有職婦人連盟から日本の婦人週間に心から御挨拶をお送り申し上げます。私共は日独両国間の交友関係が100年前に結ばれた日独交友貿易条約によつてすでにその基礎が打ち立てられたものであることを思い出して居ります。

職業につかれている日本婦人の皆様と私共ドイツの婦人々とを固く結ぶきずなが私達の国際婦人連盟の仕事を通じて深められ、私共の協力が日独両国間の交友関係を益々深める機会願ひしてやみません。

◎ドイツ大学婦人協会

マルガ・アンデルセン博士

ドイツ大学婦人協会は、4月10日から開かれる第13回婦人週間に、日本の大学婦人協会の会員と共に心からの御挨拶を申し上げたいと思います。

12 インド

◎インド外務次官

ラクシュミ・メノン女史

第13回婦人週間に際しまして、全インド婦人会議と、インドの婦人たちからの御挨拶をお伝えしたいと思います。まず、私どもも皆様とともに、次の世代のためによりよい世界を作ろうとの理想にもえ、希望にみちておりますことを、全インドの婦人にかわつて、ここに申述べさせていただきます。

私どもは例年、日本の婦人週間に對してメッセージをお送りするとしかできませんでした。が、このたび私が親しくここに出席させていただく機会を得たことは、本当に忘れたくない体験で、このことをインドの姉妹たちに、よろこびと誇りをもつて伝えたいと思います。

今回の婦人週間のテーマは、私どもが今日の世界の状況に對していただいている共通の関心を象徴しているものといえましょう。今、私どもは、世界の破滅の危機をただ傍観しているか、それとも、人類が数千年の月日をかけてきづいてきた文化をさらに育て上げるために、

手をたづさえて行くかのわかれ道に立っていると思います。

婦人が人類の運命をかえるような役割を果たすということは、かつてはあまり考えられなかつたことでしたが、婦人が政治的、社会的、経済的権利を得た今日、婦人には社会の変化に方向づけをするという新しい任務があると存じます。私どもは新しい行動の基準を作り、新たな広い視野に立つて、協力と恒久平和の目標に到達せねばなりません。私は、婦人が民族解放のために、またヒューマニズムの前進のために数百年の間黙々とつづけた努力は、今日の自由と平等に傾すると思います。私どもは今や政治的権利を持っていますが、これは、私どもがこれから大きな任務を背負つて行く第一歩にすぎないと、考えているのでございます。私たち婦人は、もつと意見の交換の機会をもち、人類が繁栄をつづけるには何が大切かということを理解し、幸福な平和な共存という目標に到達するために、手をたづさえて努力しなければならないと存じます。私どもがお互の間にある表面上のちがいを忘れて、各国民に共通な基本的なものが何かを理解するならば、今申しましたことも、決して不可能ではないと思うのでございます。一生懸命に求め、見出し、そして決して屈しないということが、私どもの目標だと思ふのでございます。

終りに、この婦人週間を毎年主催なさいます日本政府並びにこの会議を開催なさいます労働省及び日本放送協会に對しまして、祝辞を申し上げたいと存じます。

インドの婦人たちから日本の皆様にくれぐれもよろしくとのことでございます。私どもは、人間家族の全員が、恒久平和と自由と平等のうちに暮らすという私どもの宿願をとげるために、お互に力を合せて努力いたしたいと願うものでございます。

◎インド政府中央社会福祉委員会

委員長 ドルガバイ・デシムク夫人

4月10日から再び13回目の婦人週間を開催なさることを伺つて、嬉しく存じて居ります。今度のテーマに「次の世代の成長への婦人の貢献」という大変良いテーマを選ばれた事は、まことに結構な事と思います。

このテーマは、今日の世界では極めて重要なものであり、全国婦人会議ではこの問題に正しく光を当て、最後には実践上有効な方法と手段を発見なさる事と存じます。

昨年東京に参りました時に、前回の会議に出席させて戴きました事を懐しく思い出して居ります。

婦人週間が御成功なさいます様お祈り申し上げますと共に、討議というものが極めて重要なものであるばかりでなく、日本のみならず世界中で事業計画上大変に有用なものとなる様希んでやみません。

◎全インド婦人会議

議長 ミタン・J・ラム女史

労働省の主唱で行われる第13回婦人週間おめでとうございます。

全インド婦人会議では、日本の婦人の参政権獲得以来数年間の目ざましい御進歩に注目して居りました。参政権は世界中の婦人が求めてやまないものでありますが、その権利そのものは国家の問題に男性と同等に参与する資格があるという認識に過ぎないからであります。

婦人の問題は全世界で共通した点を持つて居り、世界のどの国の婦人の地位の向上でも、同じ目的のために働いている他の国の婦人にとつて、喜びとなるのであります。

婦人は子供の母親として大切な役割を持つて居り、子供の身体的精神的情操的必要は、将来子供達が善良で有能な市民となり、家のまた国家の誉れとなる様、特に注意深く充たしてやらねばなりません。

婦人は常に家族のために喜んで犠牲になるものですが、ことに日本婦人は過去において忍従の精神を代表するものでありました。しかし、犠牲女では十分ではありません。何世代もの経験を通して作り上げられた伝統的智慧が、今日有効に役立つためには、現代の知識の裏付けを持たなくてはならないのであります。

それですから、婦人が社会で各々ふさわしい役割を果せるよう婦人全般の教育をする事にすべての努力を傾けねばなりません。この目的のためにかかる費用は、婦人がその真価を発揮してよき家庭をつくり、よき市民となつたとき、千倍にも償われるのであります。

婦人週間の御成功を心からお祈りします。

13 イ ラ ク

◎イラク・共和党婦人部(電報)

イラク共和党婦人部より婦人会議に心より御挨拶申し上げ、日本婦人の繁栄と福祉のために会議の決議が広く履行されます様お祈り致します。

14 イ ス ラ エ ル

◎イスラエル婦人協議会(電報)

第13回婦人週間をお祝い申し上げ、家族と全人類への教育的影響に母の愛と英知が役立つことをいひます。

◎イスラエル婦人団体協議会

議長 ショシヤナ・ハレリー女史

さきに祝電をお送り致しましたが重ねてメッセージをお送り申し上げます。私共は日本の婦人の地位全般の向上ということに関心を持つております。不仕合せなことに私達の国と日本とは個人的にお付き合いする機会が殆んど無いものですから随分遠い国になつてしまつております。ですけれど、私達はアジア・アフリカ協会を訪れた日本学生との会合等によつて僅かではありますが関心を高めております。

婦人週間の記録や資料をお出しになるようでしたらお送り願ひたいと思つております。

◎イスラエル国際ユダヤ民族主義婦人協会

会長 レベツカ・D・シエフ女史

議長 ローザ・ギノサー女史

謹んで第13回婦人週間の御成功をお祈り申し上げます。「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマをお選びになつた事は大変結構なことと存じます。と申しますのは子供の成長に大きな役割と責任を持つて居るのはまことに母親だからであります。しかも現在の様な急速に変化する時代にあつて次の世代を形成するという大きな役割は容易ならざるものがあります。この責任を充分果たするためには各国の婦人が平等の市民として正当な地位を得ることが絶対に必要であります。

でありますから今回の皆様の御運動は全世界の婦人の支持を受けるにふさわしいものと存じます。イスラエル婦人は週間が成功され多いものであります様お祈りして居ります。

15 ヨ ル ダ ン

◎ヨルダン・ナブラス婦人社会福祉協議会

書記 シヤクリー・サイド女史

有意義な今回の催しにお祝いを申し上げ、婦人団体の福祉のため、次の世代の幸福のためにつくして居られる皆様の御貢献に敬意を表します。

◎ヨルダン・アムマン婦人団体連盟(電報)

ヨルダン・婦人団体連盟を代表して第13回婦人週間にお祝いを申し上げ、お互いに民主主義を推進し、人類の進歩のために全責任を荷う若い世代の育成に力をつくしたいと思ひます。

◎ヨルダン・アムマン婦人援護会(電報)

書記 ニムラ・サイド女史

ヨルダン婦人援護会より婦人週間に御声援をお送りし婦人会議の御成功をお祈り致します。

16 オランダ

◎オランダ・大学婦人協会

国際関係委員会議長 イーダ・シカマ女史

オランダ大学婦人協会から「次の世代の成長への婦人の貢献」を強調する婦人週間に御成功なさいませう様お祈り致しますと共に、日本の大学婦人協会が英知をかたむけて御運動に賛同致します様希望して居ります。

17 パキスタン

◎全パキスタン婦人協会

会長 H・I・ラヒムトゥーラ女史

私個人としてまた全パキスタン婦人協会を代表して、日本の皆様に御活動の常に変わらぬ御成功と立派な御業績に対し友情をこめた御挨拶と心からのお祝いをお送り申し上げます。私達パキスタンの婦人は、生活のあらゆる面で、また活動の各分野において婦人を向上させ進歩させようと全世界の婦人と手をたずさえて努力して居ります。

御計画が順調に進み婦人会議が御成功なさいませう様祈り上げます。

18 ポーランド

◎ポーランド婦人連盟

議長 フリージャ・ムシヤロワ女史

日本婦人のはじめての参政権行使を記念する行事のお知らせ有難うございました。

丁度私共ポーランド婦人も4月に行われる国会と人民会議の選挙運動を活潑に行っている所であります。ポーランド婦人は、1918年に既に参政権を獲得しましたが、婦人の自主性と才能を十分に伸ばし、権利を完全に行使する機会を得たのは、まだ第二次世界大戦後のことにすぎません。私共の婦人団体は、教養の高い活動的で献身的な婦人を、国会と人民会

議の責任あるポストに出来る丈多くつけたいという大きな希望を持って居りますので、盛んに選挙運動を行って居ります。

私共は日本の皆様の御運動と平和のためのゆるぎない御努力とを大きな関心を持って拝見して居ります。

日本の皆様にポーランドの婦人からの心からの挨拶をお伝え下さい。

日本国民のしあわせのために、御運動が成功なさいませう様お祈り致します。

◎ポーランド婦人連盟協同組合理

書記長 B・ログ・スウオステク女史

副会長 ソフィア・スタロス女史

ポーランド婦人連盟協同組合理の会員150万を代表して、第13回婦人週間に際し心よりの御挨拶をお送りしますとともに、日本国民のしあわせと御家族の幸福のための皆様の御仕事も、また世界平和の確立をめざす皆様の運動も、ともに今後ますます成果をあげられましようお祈りします。

今回の婦人週間のテーマに私どもは大きな関心を寄せております。私どもも皆様と同じく、次の世代の成長への婦人の貢献ということを非常に重要な問題と考えております。

青少年の智性と人格に対する母の影響は測り知れないものと存じます。

ポーランド婦人協同組合は子供の保護及びその教育に関する問題にとくに注意を払っております。

私どもは合理的な子供の育て方や食事の与え方とともに立派な人間性に対する子供の関心を伸ばすにはどうすればよいかなどを母親達に教えております。私どもの組合は、日用品の供給をはじめ、消費物資ないしは農業用必需品の生産、農産物の購入その他多くの経済的活動にたずさわるかたわら、文化、教育面の事業を大規模に行なっております。

婦人たちの創意によつて、組合の集会所に子供のための特別の部屋が設けられ、そこで子供たちは写真や模型などいろいろな技術を習います。またここでは子供の踊りや歌や器楽のグループが作られていて、毎年の母の日の催しには、それぞれが特別出演をいたします。

私どもは子供たちに早くから協同作業の精神を植えつけたいと考えており、この趣旨から学校の2割までが学童協同組合をもっております。これらの組合は大人の組合と同じ規則によつて運営されており、子供が管理その他一切の業務を行なっております。彼らは書籍文房具などの売店を経営し、またおもちゃその他いろいろなものの生産もいたします。

時には一とくに農村の学童協同組合では、学校農園を作り、薬草を栽培して、とり入れや乾燥作業を行ないます。また鶏や兎を飼つたりもいたします。これらすべての協同作業を通じて、生産性と組織の技術が高められると同時に、日常のいろいろな問題を協同の努力によつて解決するという能力が養われてまいります。

皆様の婦人週間のテーマであります次の世代の成長への婦人の貢献ということに関連してお伝えしたいのは、ポーランドではおもちゃの生産は協同組合がほとんど一手に引受けているということです。おもちゃというものは子供をたのしませるばかりでなく教育目的に適つたものでなければならないということから、婦人たちはこの方面の生産に非常に興味をもっております。私どもは、美を愛し人間の労働を尊ぶ心をめざめさせ、新しい技術的進歩の知識を与え、さらにチームワークによる共同生活を教えるような、そのような種類のおもちゃを子供たちに与えたいと思っております。

幼い人格を破壊するようなおもちゃや子供を悪習に染ませるようなものは一切排斥いたします。したがって、鉄砲、大砲、手錠などといった種類のおもちゃの生産は許されません。私どもが子供たちを平和と人類愛の雰囲気の中でくらしさせたいと思ひますのも、平和こそ彼らの幸福と全人類のしあわせの基礎条件であると考えからであります。

必ずや皆様にとつても平和は最大の関心事であられることと存じます。

子供たちのしあわせを願つての皆様のお仕事が成功をとげられますようお祈りいたします。

19 ポルトガル

◎ポルトガル文部省母親教育局長

ベンハ・ガルシア伯爵夫人

ポルトガル文部省母親教育局長より婦人週間のお祝いを述べさせて戴きます。

次の世代の将来は、現在では過去の人類の歴史のどの時代よりも、婦人の子供達に対する献身と心遣いと愛情にかかっています。

こうした婦人の使命は常に変らぬものでありますが、多くの尊敬すべき伝統が打捨てられ、新しい道徳的理念に伴つて将来の社会型相を形作るため婦人の諸権利を維持し、新しい社会構造を作られねばならない現在の様な時代にあつては、同時に新しくまた困難な使命でもあると思ひます。

20 スペイン

◎スペイン文化社会福祉婦人会

会長 ビラー・プリモ・ド・リヴェラ女史

労働省主催のもとに行われる婦人週間で、世界中の婦人が深い関心を寄せている多くの問題が討議される由であります。日本の会議員の皆様が会議が成功をおさめられるようお祈り

申し上げますと共に、今後一層の御発展によつて、日本婦人すべてが人格を高められ、ますます立派な国家を築かれますことを確信致して居ります。

21 スウェーデン

◎スウェーデン・フレデリカ・ブレーマー協会

会長 インガー・ライオンフウド女史

今日の日本婦人は、自己の責任を知り、将来の見透しをもつた市民として、婦人層に対しては、新たに獲得した自由を聡明に行使するものとなるよう、男性に対しては、婦人の公的生活についての因襲的な考え方をかえさせるよう、根気強く働きかけておられます。第13回婦人週間に際して心から御挨拶をお送りするとともに、今後の御発展をお祈りいたします。

◎スウェーデン全国婦人協議会

書記 モード・アーノルドソン女史

前年と同じ様に第13回婦人週間にお祝いを述べさせて戴きます。

討議のために選ばれたテーマは、非常に重要であると共に、興味深いものと存じます。私共の国でも、子供にとつて母親は最も良い最も自然な教育者であるという事が当然の事として認められています。私共は（少くとも婦人は！）、各自が賢く知的であつて、次の世代の育成のために男性に劣らぬ資格を具えていると確信致します。

御主人や学校の先生方と手をたずさえて、今回の運動が成功をなします様お祈り致します。

22 スイス

◎スイス全国婦人協議会

会長 ドーラ・J・リットメイヤー・イゼリン女史

第13回婦人週間の御計画を伺つて、切に御成功をお祈り申し上げます。

私共の協議会もまた若い世代の人々を責任ある市民に育成する事に、深い関心を持つて居ります。

更に私達は、次の世代の人々が将来は15年前に日本の婦人に与えられたと同じ様に、全スイス婦人に参政権が認められる時代に生きてくれる様希んで居ります。

皆様の御運動と御努力に改めて御声援をお送り致します。

23 トルコ

◎トルコ婦人連合中央事務局

フェリハ・ウツターク女史

国民の運命を支配し、国民に幸福な明日を約束し、そうした国家を誇りに思うことができるのは婦人であります。

各国は婦人を重要視し、与えられた権利と荷う責任にふさわしい程度まで婦人の地位をあげねばなりません。先進国の殆んどすべての国民が婦人に諸権利を与え、婦人の権利を認めまた国民にこれを認めさせるようになってきたということは喜ばしいことであります。

こうした好ましい傾向は婦人達に歓迎され、彼女達は婦人の幸福を求めて自発的に運動を始め、休みなく活動を続けるようになりました。

祖国にとって婦人の最も崇高で偉大な義務は母親の義務であると存じます。全能の神に子供を創造するという力を与えられた婦人は、子供を細心の注意をもつて育てねばなりません。というのは私達は子供が将来果す役割を考えて子供の性格を形作つていかねばならないからであります。そのためには正しい祖国愛を持ちヒューマニティーの大きな理想を尊敬する気持をもつた次の世代を作り出すことが必要であります。

そうした世代を作ることができれば、私達はこれを誇りとし、自信をもつて義務をつくしたということを云うことができます。これ迄歴史上に幾多の軍人が、学者が、天才が、芸術家が生まれ、その名前は今も私達の頭上に輝いておりますが、私達は同時にこうした人達を育て上げた母親のことを思わずにいません。

日本の第13回婦人週間に際し心から御賛同申し上げますと共に、将来の御幸福をお祈りし婦人週間のお祝いの言葉にかえさせていただきます。

24 イギリス

◎イギリス・全国婦人市民協会

会長 リティアン・ウッド夫人

1946年に日本婦人がはじめて参政権を行使したことを記念して催される婦人週間に際して、その成功をお祈りします。

皆様が週間のテーマとして“次の世代の成長への婦人の貢献”をえられたことをうかがい、皆様の立派な高度の御着想をうれしく存じます。

皆様の週間の結果をうかがいたいものと存じます。

真の市民精神の理想を啓蒙するという皆様のお仕事を促進するために私共にできることが

ありますならば、よるごんで御援助いたします。

◎イギリス全国家事使用人協会

議長 ドロシー・M・エリオット女史

婦人週間の御計画と、今年の極めて重要なテーマとを伺つて御成功をお祈り致します。

婦人少年局では、ホーム・ヘルプ制度をお始めのようですが、この制度が成功をおさめられて、家庭内の緊張緩和に役立ち“次の世代の成長”に貢献をさいます様希望して居ります。

◎イギリス全国婦人協議会

会長 ジョーン・ロビンズ夫人

4月10日から始まる婦人週間に心から御挨拶申し上げ、青少年のための御運動が益々御成功なさいます様お祈り申し上げます。

25 アメリカ合衆国

◎アメリカ合衆国高等巡回裁判所 判事 フローレンス・E・アレン女史

婦人週間の催しが13年間もの間、引き続き行われて来ているという事を私は大層喜ばしく存じます。

地域社会で婦人が極めて大切な役割を果たしているというお考えは全く正しいものと存じます。もし全世界の婦人が次の民族を形成する青少年少女に対する責任を立派に果たすならば、国内問題の解決ばかりでなく国際問題の解決にも大きな助けになると存じます。

とりわけ真心のこもつた友情と広い寛容の精神は、日本とアメリカの様な指導的な国家の間の交友と融和の基礎になるものであります。

婦人週間の計画を立て、またこれに参加される婦人の皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

◎クリスチアン・サイエンス・モニター紙婦人記者 ジェシー・アッシュ・アーンツ女史

全国の婦人週間に子供を国の責任ある市民に育成するための婦人の役割に強調事項を置かれたのは、誠に賢明なことと存じます。今日の若い人達は皆より良い世界を作り上げられるように責任感を持たねばなりません。

この事はまず世界各国の家庭から始めて行かねばならないと思います。

1959年に私が日本へ参りました時、日本の婦人の方達にお目に掛り、皆様が社会的政治的に大きな貢献をなさつていらつしやることを知つて大層感心しました。日本とアメリカの婦人はともに家庭を護り、家族の世話をし、同時に地域社会の福祉にも深い関心を持つて居ります。

家庭は中心となるものでなければなりません、婦人の活動の限界を測るものではありません。

日本の皆様の御幸福をお祈り申し上げます。

◎アメリカ合衆国下院議員 フランシス・P・ボールドン女史

日本婦人の参政権行使を記念する第13回目の記念日の催しに当り心からの御挨拶をお送り申し上げます。私共アメリカ婦人は1952年の婦人法律家会議での皆様の暖かい御歓迎を感謝して居ります。

◎作家 S.K. パドバー夫人

婦人少年局が創設以来多くの成果をあげられたことをお祝い申し上げ、永くよいお仕事をなさいますようお願いいたします。そして今年の婦人週間がたのしいもよおしてありますように、日本の皆様がこれほどの短期間にこれほどのことをなされられたことは、皆様の誇りと喜びに値するものと、御同慶にたえません。

◎アメリカ合衆国労働省婦人局長 エスサー・ビーターソン夫人

第13回婦人週間のテーマ「次の世代の成長への婦人の貢献」を拝見して、私は子供に対する母親の大きな貢献という事をまず頭に浮べました。確かに子供は私共にとつて第一のまた最も大切な責任ではありますが、私共の荷り義務は家族丈に止まるものではありません。私達は若い人達すべてが教育の機会にめぐまれ、有用な職業につくことができ、よい労働条件と生活条件を得る事が出来るよう力を合わせねばなりません。次の世代の人々が自由な民主的な社会で生きてゆく権利と義務を知り、これを大切にし、すべての人々のためにより良い世界を私達とともに作つて行く事が出来るよう導いてやらねばなりません。

アメリカの労働省婦人局では日本の婦人少年局と全日本婦人の皆様に第13回婦人週間の催しをはじめすべてのお仕事大きな成功をおさめられます様お祈りして居ります。

◎アメリカ合衆国上院議員 マーガレット・チェイス・スミス女史

1946年の日本最初の婦人参政権行使記念にお祝いと賞賛の意を表したいと思います。日本婦人のこれ迄に示された素晴らしい御進歩に私共は大変感心して居ります。

◎弁護士 メアリー・H. ツーメイマン女史

日本婦人の参政権獲得を記念する第13回婦人週間に心からお祝いを申し上げます。

◎エセル・B. ウィード女史

稚内から鹿児島に至る日本の全国で会合をもたれる皆様の上に私は思いを馳せております。私が日本を去つて以来多くのことをなされられた皆様一主婦の方々、農業協同組合の婦人方、都会や農村の職業婦人の皆様、おめでとございます。

私は遠くから皆様の行動を注目し、日本の代表の方々や他の国の指導者の方々にお目にかつたとき皆様のお仕事のニュースをきくのを楽しみにして居ります。私は皆様の家庭をおびやかす水害や地震、台風その他の災害のニュースを読むと心配でなりません。しかし作物の出来がよかつたなどという日本の繁栄の記事を読むときや私が去つて以来日本がどんなに変つたかを知るのはたのしみな事です。

時には、お国のあちらこちらで知りあつたかたがたの娘さんの御結婚とか息子さんの昇進のニュースが入ってくることもあります。こうしたうれしいことのあつたときに皆様一人一人にお目にかかれな残念です。私はもう長い間日本には行かないのですが、皆様のなさるすべてのこと、皆様の身におこつたすべてのことは、個人的な出来事であれ、公のことであれすべて、私にとつては大きな関心事なのです。

私がかつて皆様のお宅を訪問したように、もつともつと皆様が私の家をお訪ね下さればと願つております。

私は日本での選挙の状況を仔細にみておりますが、婦人がたが民主主義の運営についてますます理解を深め、影響を強めていられることを知つてうれしく思つております。

責任のある公職に婦人が選出され、政府の要職に多くの婦人がつかれたこともうれしいことです。

私は皆様とともにあつたことを誇りに思い、皆様が村や町での、又国内での、又今では広く世界での出来事にいかにしてよい影響を及ぼすかに苦心された数々の思い出を尊いものと思つております。皆様のお仕事は、より恵まれることの少ない国々の婦人たちにとつて大いに刺激となると存じます。

婦人週間に際して、日本の皆様へ心からの御挨拶をお送りします。

◎アメリカ合衆国大学婦人協会

会長 ハーバート・E・ホークス夫人

日本の皆様は参政権獲得を記念する婦人週間に、アメリカ合衆国大学婦人協会より再び御挨拶を申し上げます。

日本婦人の地位の向上は、民主社会の市民であるすべての婦人にとって喜ばしい事です。

戦争と抑圧された時代を経て婦人は各自の社会の全生活の中に溶け込んで生活する様になつて参りました。そして自己の才能を社会に役立て地域社会の、また国家の問題に影響を与えて居りますが、一方また家族に対する義務は、他のものと大きな義務があるために減つてゐるわけではありません。

アメリカ合衆国大学婦人協会は、日本の皆様が残された大きな御業績に対しお祝いを申し上げます。

◎アメリカ合衆国大学婦人協会婦人の地位委員会

議長 イザベル・フオークナー女史

婦人週間に際し、アメリカ合衆国大学婦人協会婦人の地位委員会より御挨拶申し上げます。

私共の委員会では、今度の婦人週間のテーマ「次の世代の成長への婦人の貢献」に特に興味をもつて居ります。と申しますのは、私共も来年度の事業計画として「地域社会の人材として役立つ大学婦人」というテーマを選び有志活動や公的生活に役割を果たす事によつて地域社会に貢献する婦人の責任と機会に重点を置くことになつてゐるからなのです。

地域社会の問題に積極的に参加する母親は、地域社会の生活に直接に貢献するばかりでなく、子供達を育てる上に責任ある市民としての良き模範ともなつてゐるのであります。

日本の婦人参政権獲得第13回目の記念日に際し、日本の皆様にお祝いを申し上げ、婦人週間に心からの御挨拶をお送りする次第であります。

◎アメリカ合衆国・フレンド・サービス委員会

書記長 コリン・W・ベル女史

日本の社会における婦人の地位を讃めて4月10日から16日まで婦人週間を催されます由、アメリカ・フレンド・サービス委員会はこのおしらせをうれしく拜見しました。

300年も昔、フレンド協会が英国で組織されはじめた頃、婦人はその社会で特異な高い地位を占めておりました。その歴史はじまつて以来、クエーカーの婦人は常に運動の指導者として活躍しており、あるものは婦人運動に革命的イニシアティブをとりいたるところで婦人の社会的地位の向上をすすめております。

人類は今や感受性と道義と婦人が青少年に与える感化とを切に必要としております。日本の皆様は家庭において、更に広い社会において、真の指導性を発揮されることをお祈りしま

す。

◎キャリー・チャップマン・キャット記念財団

会長 ジョーン・G・リー女史

1946年の日本婦人の参政権獲得を記念する第13回婦人週間に際し、キャリー・チャップマン・キャット記念財団から日本婦人の皆様へ御挨拶申し上げるのを仕合せに存じます。

今週間のテーマである「次の世代の成長への婦人の貢献」は、まことに効果ある、また最も価値あるものと存じます。

私共の子供達の住む世界の性格は、大部分子供達が将来その一員となる市民の性格によつて形成されるものであります。

日本の婦人の皆様によろしくお申し伝え下さい。

◎アメリカ合衆国国際婦人通信委員会(コミティ・オブ・コレスポンドンス)

理事長 アリソン・レイモンド女史

第13回婦人週間への御挨拶を通信委員会からも述べさせていただきます。

私どもは「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマにとくに関心をもつております。年長の私どもでさえ見透しえない急速な社会の変化に対応しようとする若い人々を育てるという問題は、とりわけ実のある討議テーマであるように思えます。私どもはこの問題について一カ月前からいくつかの国内団体や国際団体と話し合つてまいりましたが、これは深く降り下げて討議すれば非常に面白い問題だと存じます。皆様は会議の後でお出しになる報告なり概要なりを楽しみに待つております。

規律や秩序の価値を失うことなく、独創力と柔軟性を青少年に養ふという問題について私どものグループでは主に話し合われました。皆様の会議でもこの点が問題となつたかどうか知りたいと存じます。

心をこめて祝辞をお送りします。

◎アメリカ合衆国・農村婦人協議会

会長 エヴェレット・スパングラ夫人

貴局の御発展に再び祝意を表することを光榮に存じます。

今回の婦人週間のテーマは「次の世代の成長への婦人の貢献」とのことですが、このテーマはどのような状態にある婦人にとつても極めて興味深いものにちがいないと存じます。婦人たちのよき指導が次の世代を形成します。明日の指導者となるのは今日の青少年でありますから、今日婦人が与える影響は将来に大きな意義をもたらすものと申せましょう。

民主主義は全国民の幸福のためにしっかりと培われねばならぬことはよき市民の自覚する

ところです。この婦人週間には日本の多くの団体が協力される由であります、皆様の御努力に対し重ねて御同慶の意を表します。

◎アメリカ合衆国婦人クラブ総連合

会長 E・リー・オズバーン夫人

婦人クラブ総連合を代表して婦人参政権確立を記念する催しに御挨拶をお送り申し上げます。

面白いことに第13回婦人週間にお選びになつたテーマは、私共の運動目標「責任ある鋭敏な市民の育成」に大変よくて居ります。

友情と理解を深めるために共に力を合せて絶えず働かねばならない私達がお互いに地球の向う側にあつて同じ様な目標をもっているという事は平和のための助けになるに違いありません。

日本の婦人の過去15年間の御努力に対しお祝いを申し上げる次第であります。

◎アメリカ合衆国、全国カソリック婦人協会（電報）

会長 エリザベス・ツェプト・アーサー夫人

アメリカ合衆国全国カソリック婦人協会より日本の婦人参政権の15年目の記念日をお祝い申し上げます。思慮ある一票によつて婦人は家庭を地域社会を、国家を、更には世界を扶ける事が出来るのであります。

◎アメリカ合衆国婦人有権者同盟

会長 ロバート・J・フィリップス夫人

毎春ワシントンの桜が咲く頃、アメリカ合衆国婦人有権者同盟は、日本の沢山のお友達を思い起します。

今年の4月も15年前の参政権獲得を記念して催される婦人週間によつて、阿国の婦人の結びつきが改めて想起されるのであります。

第13回婦人週間には、皆様が次の世代の成長のための婦人の貢献を強調なさいますようですが、婦人有権者同盟も婦人と全市民が自分自身のためばかりでなく、来るべき世代のために、この世界をより良きものとするよう絶えず努力せねばならないと信じて居ります。

各世代は次の世代のために最善のものを与えねばなりません。そして、こうした努力によつて世界の進歩が子供の成長を通して進められて行くのであります。

皆様の御努力が御成功なさいます様を祈りして居ります。

◎アメリカ合衆国全国有職婦人クラブ連盟

会長 ファニー・ハーディー女史

日本婦人の参政権獲得の記念日に私共アメリカ合衆国全国有職婦人クラブ連盟は特に深い関心を持つて居ります。私共の団体は日本にも支部のある国際有職婦人クラブ連盟のアメリカ支部であります。

婦人週間にお選びになつたテーマ「次の世代の成長への婦人の貢献」は、自由世界にすむ私共すべてにとつて極めて重要なものであると思います。

4月12日より15日までの婦人会議が成功なさいます様を祈り致します。

◎アメリカ合衆国全国婦人協議会

会長 ヤーナル・ヤロブ夫人

アメリカ合衆国全国婦人協議会は、第13回婦人週間の御計画を興味深く拝見致しました。「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマ程重要なものは他にないのではないかと考えられます。

過去に日本の皆様が集み上げられた立派な御業績に敬意を表しますと共に今後益々御発展なさいますようお願い申し上げます。

◎アメリカ合衆国・ロスアルトス・クオータ・クラブ

会長 フランシス・N・ウッドワード女史

ロスアルトス・クオータ・クラブは、貴局並びに日本婦人の皆様が、婦人の地位向上のためにすでに多くの実績をおさめられたことに心からの祝辞をお送りします。

国際クオータ・クラブはとくに婦人の問題に関心をもち、その向上を任務としておりますので、貴国の婦人週間には大きな関心をもっております。

「次の世代の成長への婦人の貢献」という課題のもとでの貴局のお仕事が多くのご成功をおさめられますことをお祈りします。

◎アメリカ合衆国YWCA国内委員会

会長 リレーイス・レイド・バーンズ女史

アメリカ合衆国YWCA国内委員会から第13回婦人週間に御挨拶を申し上げます。お選びになつた「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマは大層結構なものと思います。

このテーマは最近の社会改革によつて解放された日本の婦人の英知と才能を最も有意義に役立てる機会となるものと存じます。

アメリカ合衆国YWCAは全世界の婦人とともに、全国婦人会議の御成果を伺せて頂くのを待ちしております。私共は次の世代の仕合せを願う気持ちで日本の皆様と結びついて

いるのです。心から私共の敬意と御挨拶をお送りする次第でございます。

26. ソヴィエト

◎ソヴィエト婦人委員会

ジナイード・フィオドロヴァ女史

ソヴィエト婦人委員会の会員を代表致しまして1946年の参政権獲得を記念する行事に心より御挨拶を申し上げますと共に、御運動と御活動が更に多くの御成功をおさめられます様にお祈り申し上げます。

ソヴィエトの婦人は今回の婦人週間の「次の世代の成長への婦人の貢献」というテーマが日本婦人に大きな共感を呼ぶことを希望して居ります。

将来の国をになり若い世代の育成という問題はすべての母親の心に訴える問題であります。人類の偉大な理想—平和、進歩、国家間の友交—を高く評価する善良で誠実な人々を育成するという事は、全世界の婦人にとつての尊い義務でもあります。

ソヴィエト婦人になり代つて日本の婦人が若い世代の民主的教育という高い理想に向つて大きな貢献をなさるであろうと確信している事をお伝え致します。

27. ユーゴスラヴィア

◎ユーゴスラヴィア児童福祉協会

事務局長 ソニア・ローマツ女史

ユーゴスラヴィア児童福祉協会から「婦人週間」に御挨拶申し上げます。

私共は地理的に遠くにありますが、健康で元気に満ちた若い世代を育成しようと力を合せて協力している点で互に結ばれて居り、世界中の若い人々の幸福のために平和を確保するという共通の願いは、私共をより親密な友人にするものであります。

諸国民のより良いより幸福な生活のために、若い世代はよき労働者、よき技術者としてばかりでなく、各自の家庭で、地域社会で、相互に尊敬し合う精神と協同の精神を作り出す人間として教育されねばなりません。

若い人達は自分達の国で達成される業績を誇りに思うと同時に、他方では他の国の人々の努力と業績を尊敬する事が出来、全世界の国々と建設的な協力関係を作り出し、必要とあれば、諸国家が全力を挙げて援助し合う様になりたいものであります。

若い人達をそうした精神の持ち主に教育するためには、婦人の大きな貢献が必要でありま

す。何故ならば婦人は母親として若い世代に大きな影響を与え、この人達を愛情と、理解と、民主的精神の持主に育て上げる事が出来るからであります。この大切な仕事を達成するために、婦人は進歩的思想と充分な知識をもつた建設的な人間にならねばなりません。

婦人と母親の責任というものに気がついて、私達の社会と社会事業団体は、婦人が若い世代の育成という立派な仕事を達成する事が出来るよう、婦人教育に大きな関心を払つて居ります。

より良い社会を形成するために、私達の共通の目標が婦人週間の活動に生かされますことを確信致しますと共に、将来の一層の御成功をお祈りする次第であります。

◎ユーゴスラヴィア婦人協議会

会員 コス夫人

全国婦人会議に御挨拶申し上げるのは私の光栄とするところでございます。

「次の世代の成長への婦人の貢献」という今年の婦人週間のテーマは、日本ばかりでなく全世界にとつても極めて意義あるものであります。古い世代と新しい世代との対照、その間の争いというものは従来よりも次第に烈しく顕著になつて参りました。したがつて、世代間の対立というものは一つの世代から次の世代への移行というだけでなく、もつと深い根と理由をもつて居るのであります。いま全世界には社会変動が進みつつあり、その変化はこれまで存在しなかつた新しい諸現象によるものであります。私共の国ユーゴスラヴィアにもこの現象が見られ、私共は、若い世代に与える何か新しい指針がなくてはならない、現在の状況に合つた新しい倫理と道徳がなくてはならないと考えて居ります。しかもそれは、古くからある伝統的な家族の役割を失わず、またこの変遷の過程にあつて婦人が、これに参加する事の重要性を損わないようなものでなければなりません。多くの婦人団体は次の世代の問題に関心を払つて居り、現実の社会環境と社会全体の新しい要請に立脚した解決の方法を見出そうと努力して居ります。如何にして健康な次の世代を育成し教育するかということは大きな問題であります。これは身体的健康ということの意味するばかりでなく、道徳的倫理的により健康であり、人生観も社会に対する責任感も、また、やがてはこの人達が荷う将来に対する義務感も健全であるということでもあります。

こうした考えに立つと、若い世代の成長への婦人の貢献ということはむずかしいことではないと存じます。

何をおいてもこれら若い人達は母親の息子であり娘であり、共通の目標を心においてこの人達を育成する事によつて、婦人は若い世代の成長に重要な役割を果たすからであります。したがつて、現在では婦人が公的生活に積極的に参加し、社会活動に従事することはすでに必要なことになつて居り更にまた新しい社会の変遷の意味と今後の目標を自分達の子供にもその他のものにも伝えることが出来るよう、若い人達のための団体や社会福祉団体の積極的な

メンバーになることも同時に必要でありましょう。この様にして婦人は理想と道徳とを自らの家族に導入し、次の世代を健康に育てるための基礎を注意深く作っているものであり、かくして家族は新しい意味を持つに到つたのであります。

婦人会議に際して、まことに適当なテーマをお選びになつた事に対してお祝いを申し上げたいと存じます。このテーマはこの週間だけのスローガンでなく、将来にわたる全婦人の活動に対するスローガンでもあると存じます。人間性に立脚した道徳的で妥当な教育に基いた次の世代の健康な成長によつてはじめて我々は平和が保たれ、各国間のより良き理解が作られ得るのだという確信を得ることができるのであります。

28. 国際的団体

○国際婦人協議会

書記長 O・ボモンティ女史

私共は、日本の皆様の御運動に常に大きな関心を持つて居りますが、この度の催しについてもお知らせ下さいまして有難うございました。

私共国際婦人協議会の会長ルフォージヌ夫人から、第13回婦人週間をなさいます日本の皆様によろしく、また御行事が成功なさいます様、お祈り致しますとの事でございます。

○国際有職婦人クラブ連盟

副会長 ジーン・M・ランダル女史

日本婦人の参政権獲得を記念する第13回婦人週間に際して、国際有職婦人クラブの会長並びに会員より御挨拶をお送りします。

婦人週間の期日は偶然にもオーストラリアの全国同一賃金週間と同じ期間になつております。

西部オーストラリアの委員会の委員長を勤めているものとして、私は日本がこの点でオーストラリアより進んでいることを大いに宣伝いたしたいと存じております。

日本の皆様の御発展をおよとび申し上げ、婦人週間の御成功をおいのりいたします。

○ 婦人法律家協会

財政部長 アイダ・M・グリンブラット女史

私どもは婦人に関する進歩的運動に極めて深い関心をもつておりますので、皆様が日本婦人の地位の向上のために催しをされることを大変うれしく存じます。昨年当協会から日本にまいりました際、東京で婦人の地位についての会議をいたしました。当協会は国連に諮問的

地位をもっており、婦人の地位に関する国連の事業に積極的に参加しております。

アメリカの婦人たちは私どもの知る限りでは、皆様の運動に非常に関心をもっております。ここに会を代表して、皆様が目的をとげられることを心よりおいのりします。

全世界の、とくに皆様の美しい祖国日本の婦人と子供の生活条件と地位の向上をめざす皆様の御努力は、何にもまして讃えたく存じます。

日本滞在の間に、私がとくに感銘をうけましたのは、保健、教育並びに進歩的立法の促進のための婦人たちの活動が、婦人運動に対する評価を高めていることでした。

皆様の週間がよき実を結びますよう、婦人指導者の方々が終局の目標に向つて前進されましようお祈りします。

全世界64カ国にある1500人の全会員から重ねてごあいさつをお送りします。

PREFACE

Japanese women exercised the first franchise in 1946, on the 10th of April. In the memory of this event, a week from 10th to 16th in April has been celebrated as Women's Week since 1949, sparked by the Women's and Minors' Bureau, Ministry of Labor.

On the occasion of the 13th Women's Week of this year, about 90 congratulatory messages were sent from abroad, from women's organizations and notable individuals of 27 countries in the world.

These messages indicate the fact that women of the world expect the Japanese women to play the important role in the democratization of their country and in making peace of the world.

They were displayed at the hall of the building in which the National Women's Conference was held, and the translation of them were printed and distributed to the reporters of presses and magazines.

The Women's and Minors' Bureau herewith presents this collection of messages (originals and translations) to the public for the broader use. It is hoped that this will be of some use to those who are interested in the status of women and international understanding.

June 1961

SETSU TANINO, Director
Women's & Minors' Bureau
Ministry of Labor
Japanese Government

CONTENTS

1. AUSTRALIA	1
Miss Helen H. Wilson, writer and authour	
Australian Federation of University Women	
Australian Federation of Women Voters (Cable)	
Australian National Council of Women	
Combined Equal Pay Committee of Western Australia	
2. AUSTRIA	3
Austrian National Council of Women	
Osterreichische Frauenbewegung Bundesleitung	
Frauen Zentral Komitee of the Austrian Socialist Women	
3. CAMBODIA	6
Miss Phiroun Phlech, Ministry of Social Action and Labour	
4. CANADA	
Miss Marion V. Royce, Director, Women's Bureau	
Miss Margaret E. Ashdown	
Association of Administrative Assistants or Private Secretaries	
International Federation Committee of the Canadian Federation of Business and Professional Women's Clubs	
The Canadian Federation of Business and Professional Women's Clubs	
Leaside Business and Professional Women's Club in Toronto	
North Toronto Business and Professional Women's Club	
The Business and Professional Women's Club of Sarnia, Ontario	
Sturbury Business and Professional Women's Club, Ontario	
Canadian Federation of University Women	
The National Council of Women of Canada	
Canadian Women's Christian Temperance Union	

United Nations Association in Canada	
Vice of Women Women's International League for Peace and Freedom--Toronto Branch	
Y. W. C. A. of Canada	
Zonta Club of Sarnia, Ontario	
5. CEYLON	17
All-Ceylon Women's Conference	
The Lanka Mahila Samiti (National Council of Women)	
Y. W. C. A. of Ceylon	
6. CHINA	20
中華婦女反共抗俄連合會	
7. CZECHOSLOVAKIA	21
Committee of Czechoslovak Women (Cable)	
8. DENMARK	21
Danske Kvinders Nationalrad	
9. FINLAND	22
The National Council of Women of Finland	
10. FRANCE	22
Conseil National des Femmes Francaises	
Federation Francaise des Eclairireuses	
11. GERMANY	23
Dr. Elisabeth Schwarzhaupt	
Miss Magda Staudinger	
Deutsche Verband Berufstatiger Frauen	
German Association of University Women	
12. INDIA	25
Smt. Lakshmi Menon, Union Deputy Minister for External Affairs	
Mrs. Durgabai Deshmukh, Chairman Central Social Welfare Board	
All-India Women's Conference	

13. IRAQ	28
The Republican Women Organization in Iraq (Cable)	
14. ISRAEL	28
Women's Council of Israel (Cable)	
Council of Women's Organizations in Israel	
Women's International Zionist Organisation	
15. JORDAN	30
United Social Women Welfare Association Nablus	
District Hashimite Kingdom of Jordan (Cable)	
Executive Committee of the League of Voluntary	
Societies of Amman (Cable)	
Women's Voluntary Aid Society (Cable)	
16. NETHERLAND	30
Netherlands Association of University Women	
17. PAKISTAN	31
All Pakistan Women's Association	
18. POLAND	31
League of Polish Women	
Polish National Co-operative Department of the Women's	
League	
19. PORTUGAL	35
Obra das Maes Pela Educacao Nacional	
20. SPAIN	36
Spanish Feminine Organizations for Culture and Social	
Welfare	
21. SWEDEN	36
The Fredrika Bremer Association	
Svenska Kvinnors Nationalforbund	
22. SWITZERLAND	37
The National Council of Women of Switzerland	
23. TURKEY	38
General Center of Turkish Women's Union	

24. UNITED KINGDOM	39
The National Council of Women of Great Britain	
National Institute of Houseworkers	
National Women Citizen's Association	
25. United States of America	40
Miss Florence E. Allen, Senior United States Circuit	
Judge	
Miss Jessie Ash Arndt, Woman's editor of the Christian	
Science Monitor	
Miss Frances P Bolton, Congressman (Cable)	
Mrs. P. Padover, writer	
Mrs. Esther Perterson, Director, Women's Bureau U.S.	
Department of Labour	
Miss Margaret Chase Smith, U. S. Senator	
Miss Mariett Tuwmeiman, Attorney and Counsellor	
Miss Ethel B. Weed	
American Association of University Women	
American Association of University Women, Status of	
Women Committee	
American Friends Service Committee	
Carrie Chapman Catt Memorial Fund, INC.	
Committee of Correspondence	
Country Women's Council, U. S. A.	
General Federation of Women's Clubs	
National Council of Catholic Women (Cable)	
League of Women Voters of the U. S.	
The National Federation of Business and Professional	
Women's Clubs	
National Council of Women of the United States	
Quota Club of Los Altos	
National Board of the Y. W. C. A. of the U. S. A.	
26. UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLIC	52
Soviet Women's Committee	

27. YUGOSLAVIA	53
Council for Child Welfare in Yugoslavia	
Women's Association of Yugoslavia	
28. INTERNATIONAL ORGANIZATIONS	55
International Council of Women	
International Federation of Business and Professional	
We Women	
International Federation of Women Lawyers	

MESSAGES FROM ABROAD FOR THE 13TH WOMEN'S WEEK

1. AUSTRALIA

MISS HELEN H. WILSON, WRITER AND AUTHOR

It is with great pleasure that I send my personal greetings to the women of Japan in their commemoration week beginning on April 10th next. I wish them further success in their humanitarian efforts to make life better for all women in their own country, and especially for the coming generation. Most of all, I think, in recognising the great influence a mother can exert on 'the wisdom and intelligence and personality' of the next generation.

I had the privilege four years ago in meeting two of your officers of the Women's and Minors Bureau in Tokyo and have remained deeply impressed with their sense of dedication ever since.

I have handed your message on to various women's organisations in this country, including the Association of University Women, from whom you will hear in due course.

In the meantime, please accept my good wishes for your cause and my congratulations on the courage and wisdom with which you have persued it through the years.

With all good wishes,

Sincerely yours,

Helen H. Wilson

AUSTRALIAN FEDERATION OF UNIVERSITY WOMEN

We have heard that there is to be a Women's Week in Japan in April and the Council of the Australian Federation of University Women would like to send their greetings and congratulations on the part that women are playing in modern Japan.

With kind regards

Yours sincerely,

Rewa Newman
Hon. Secretary.

AUSTRALIAN FEDERATION OF WOMEN VOTERS

Greetings and successful conference commemorating enfranchisement

Collmann president Australian Federation Women Voters

AUSTRALIAN NATIONAL COUNCIL OF WOMEN.

Congratulations from the National Councils of Women on Australia, on your increasing contribution to National life and amazing progress in the part paid by women in public interests since 1946.

We assure you of our sincere interest and sympathy as women and as members of a fellow democracy.

Trusting that the 13th. Women's Week will be an outstanding success,

We are,

Yours sincerely,

L. M. Hooper
Honorary Secretary.

COMBINED EQUAL PAY COMMITTEE OF WESTERN AUSTRALIA

With thanks I acknowledge your letter of 18th February, 1961, enclosing details of the activities during 'Women's Week' in Japan, commencing April 10th, 1961, which was read at our last meeting with great interest.

By a strange co-incidence, during exactly that same week, there is to be an intensive drive for equal pay here, known as 'National Equal Pay Week'. Our Government has not yet been induced to pay the 'rate for the job', so in this matter Australia, though advanced in other respects, ranks with the backward countries of the world.

As you request, we will do our best to make your campaign known to our other women's organisations in Western Australia. On behalf of the eighteen organisations represented on the Committee, we wish your efforts the greatest success. We too are working to raise the status of women in our country, so you have our sympathy as well as interest. Please convey our greetings to all those who are working towards this end in Japan.

Yours sincerely,

E.M. Ross (Miss)
Hon. Secretary.

2. AUSTRIA

AUSTRIAN NATIONAL COUNCIL OF WOMEN

It is with great joy that I take the opportunity of sending a message of greeting to the women of Japan. We are much interested in reading about the wonderful progress in your country.

Education is a great problem everywhere. Young people must fit into this new rapidly changing world, but not lose the real values that lie in tradition.

After the General Assembly of the International Council of Women at Istanbul last autumn UNESCO organised a study circle to promote better understanding between West and East. At that occasion I had the great pleasure of meeting a young Japanese girl, studying social work.

I hope it won't be long before Japanese Women's Organizations is represented in the I.E.W.

With every good wish,

Yours sincerely

(Mrs) Henriette Hainisch
President of the Austrian Council
of Women

ÖSTERREICHISCHE FRAUBEWEGUNG

BUNDESLEITUNG

Die Frauen der Österreichischen Volkspartei senden den Teilnehmerinnen an der dreizehnten Japanischen Frauenwoche die besten Grusse !

Sie haben den Beratungen Ihrer diesjährigen Tagung das Thema gestellt, das allen Frauen der Welt gleich lieb und wichtig ist : die Sorge für die jungen Generationen.

Die Sorge für die Entfaltung der jungen Generationen gehört zu unsern vordringlichen Aufgaben und ist der schönste Auftrag an die Frauen und Mütter, weil er ihre Herzen und ihre ganze schöpferische Kraft in den Dienst für das gesamte Volk und dessen glückliche Zukunft stellt.

Wir hoffen, dass die Beratungen und Referate der Japanischen Frauenwoche 1961 Ihrer Arbeit neue Impulse und neue Erfolge bringen werden.

Ihnen, liebe Mrs. Tanino, Möchten wir zur Wiederwahl in die UNO-Kommission, in der Sie sich schon so viele Jahre ebenso wie in der Arbeit in Ihrem Lande selbst bewährt haben, herzlich gratulieren !

Gilda Gotzen
Chargee d. Affaires Etrangères

Lola Solar MP
Präsidentin

FRAUBEN ZENTRAL KOMITEE OF THE AUSTRIAN SOCIALIST WOMEN

We bid you our greetings full of friendship in the name of the Frauen Zentral Komitee of the Austrian Socialist women and wish you very heartily much success for your Women's Week.

After the cruel second world war we are still living in a world full of trouble, in a world full of contrasts. The wounds of war are not yet healed, they are still bleeding, especially in the cities of Hiroshima and Nagasaki. We are always thinking full of deep sympathy of the victims who are still suffering in consequence of the Atom bombs.

We too consider it our holiest task to educate the young generation in such a way that she is prepared to live in peace and friendship with all other peoples, when they are adults.

There are still people in the world living without freedom and many millions of people are hungry.

We Austrian Socialist women celebrate the International Socialist Women Day in the months of March and April. Our parol is

FREE PEOPLES EVERYWHERE.

We hold meetings in every city and in many little spots of our country with the claim, to help the people who are fighting for their freedom.

Once, when the time will come in which all people are free and no people has to suffer of hunger, then nobody will be in fear that a war could come, then all men will be friends and all peoples will speak to the other in a good way about their problems.

One of the nicest task for us women and for the mothers in the whole world is to educate the youth to esteem the dignity and the rights of people. We wish, that you are successful with your Women-Week and in your work for the youth of your country.

We Austrian Socialists are selling 200.000 signs at our Women Day and we shall give the gain of it to an international fund for the purpose to bring help to those countries, who need help.

We hope we can do something in such way to fight against hunger and need.

We send you all our greetings full of friendship.

Chairman of honour
Y. Proft

Secretary :
R. Mehr

Chairman :
Revaforlmenm

3. CAMBODIA

MISS PHIROUN PHLECH, MINISTRY OF SOCIAL ACTION AND LABOUR

Excuse me first for my very bad English because usually I speak French. But I try to write to you in English.

I would like to send to you and also to all Japanese women my best thoughts and my congratulations for a successful and a happy 13th Women's Week.

I have been twice in Japan, your beautiful country and I found the Japanese a very great, very strong and very clever people and I like very much my sister the Japanese women

Yours sincerely
(Miss) Phlech, Phiroun
Ministry of Social Action
and Labour

4. CANADA

MISS MARION V. ROYCE, DIRECTOR, WOMEN'S BUREAU

It is good to hear once again about plans for the celebration of your Women's Week. As always you have chosen a theme that adds new dimensions to every-day living.

In the very nature of life whatever values we accept and serve we are contributing to the next generation. Therefore, to have set before the women of Japan, and indeed women throughout the world, so vital a conception of the educative role of women is to have planted an idea that challenges mind and heart.

I am happy to do what I can to bring your celebration to the attention of Canadian women and send best wishes for its success.

Yours sincerely,

Marion V. Royce,
Director,
Women's Bureau.

MISS MARGARET E. ASHDOWN

It has been brought to my attention that the 13th Women's Week will be held during the week beginning April 10th under the sponsorship of the Ministry of Labour to commemorate the acquisition of voting privileges by the Japanese women in 1946.

In 1958 it was my very great pleasure to spend the month of July in Japan. Since my return, I have been busy at every opportunity extolling the beauties of your country and the kindness and the courtesy of your people. As a matter of fact, I have now lectured eighty-four times on the subject of Japan, its people and the contribution which they are making to the welfare of mankind.

I went to Japan as a member of the UNESCO East-West Cultural Mission, representing the Business and Professional Women's Clubs of Canada and since I was representing a woman's organization, I was deeply interested in what the women of Japan were doing. I have never ceased to marvel at your accomplishments and I know that you will go forward to even greater things.

As a result of my visit to Japan, a plan was put forward whereby an invitation was extended to two of the members of the Japanese Federation of Business and Professional Women's Clubs to be the guests of the Canadian Federation at the International Congress held in Paris, France in July of 1959. The two ladies chosen to represent the Japanese Federation were Mrs. Sumiko Tanaka a member of the Business and Professional Women's Club in Tokyo and Mrs. Tomi Kitano, Vice-President of the Japanese Federation. These two ladies were warmly welcomed by those attending the Congress and everyone agreed that the Japanese representatives made an outstanding contribution to the success of the event.

May I wish for each one of you a growing realization of the responsibility which is yours in these troubled days. It is my hope that you will continue to go forward, taking advantage of every opportunity to improve yourselves in every way in order that you may make the greatest possible contribution to the welfare of your country and your families.

As I have gone around the country speaking about your country, I have found a great respect and admiration for the women of Japan among the Canadian women and I am sure that they would all wish me to extend to you their very warmest greetings on this special occasion.

Yours Sincerely,

M.E. Ashdown
Vice-President,
Business & Professional Women's
Clubs of Ontario.

ASSOCIATION OF ADMINISTRATIVE ASSISTANTS

OR PRIVATE SECRETARIES

The Sarnia Branch of the Association of Administrative Assistants or Private Secretaries would like to extend their best wishes to the women of Japan on the occasion of the 13th Women's Week which is now being observed.

We congratulate them on the progress which they have made in improving the status of women in every walk of life.

It is our hope that they may enjoy continued success in this most worthwhile pursuit and we take this opportunity of assuring them of our interest.

Our concern for the recognition of women in every phase of endeavour unites us in one common bond.

Sincerely yours,

(Miss) Helen B. Laurie
Chairman - Sarnia Branch,
Association of Administrative
Assistants or Private
Secretaries.

INTERNATIONAL FEDERATION COMMITTEE OF THE CANADIAN
FEDERATION OF BUSINESS AND PROFESSIONAL WOMEN'S CLUBS

Through Mrs. Margaret Ashdown of Toronto, I have learned that during the week of April 10th, 1961, under the sponsorship of the Ministry of Labor, Women's Week is to be celebrated throughout Japan to call to mind that the women of Japan received the right to vote in 1946.

The idea of having a Women's Week is an excellent one and the theme chosen for this year of "Women's contribution to the growth of the next generation" is very appropriate. It is a reminder of the great contribution women can and do make towards developing in children and young people a real understanding of democracy and of their responsibilities in this rapidly changing world.

As Chairman of the International Federation Committee of the Canadian Federation of Business and Professional Women's Clubs, I send to the women of Japan best wishes for the success of Women's Week.

Sincerely yours,

Muriel McQ. Fergusson,
Senator.

THE CANADIAN FEDERATION OF BUSINESS AND PROFESSIONAL WOMEN'S
CLUBS

It is a very great pleasure to send greetings to you, on the occasion of the celebration of the practice of voting by Japanese women.

We here in Canada have a very special interest in all you are doing in Japan, since we have a Federation of Business and Professional Women's Clubs there.

The Canadian Federation and the Japanese Federation are members of the International Federation of Business and Professional Women, whose aim is to improve the status of all women throughout the world.

May I wish for you and the Women's and Minors' Bureau every success in your campaign during the 13th Women's Week.

Sincerely yours,

Isabel Menzies
Immediate Past President

LEASIDE BUSINESS AND PROFESSIONAL WOMEN'S CLUBS IN TORONTO

At a recent meeting of the executive of local Business and Professional Women's Clubs here in Toronto I learned that commencing April 10th, you would be celebrating WOMEN'S WEEK IN JAPAN.

While this note may not reach you until after the week is over, on behalf of all the members of the Leaside Business and Professional Women's Club I would like to wish you and all other members of the Japanese Federation very happy and prosperous year and success in all your undertakings.

I believe the theme of WOMEN'S WEEK is centred around "Women's Contribution to the growth of the next generation" and feel that whoever chose the theme should be congratulated for it is a most inspiring one and a challenge to all of us, whether we be just plain homemakers or out in the business world. It is very necessary that each and every one of us do our part to make the world a better place in which to live. One of the best ways of doing this is to get together in groups to discuss our mutual problems and work out satisfactory solutions.

There are only 27 members at the present time in the Leaside Club but the girls are all most co-operative and willing to do whatever is asked of them. We usually have one large bridge each February to raise funds for the scholarship we grant to a young lady leaving high school for the purpose of continuing her education.

In addition Leaside club participates quite actively in all the various activities planned by the Council comprised of the executive of each of the eight clubs in this district. We will be having our Regional Conference on the 19th of this month, based on the theme "Leadership is our Business - in the club, in the community, in public affairs, on the job and in

world affairs". We all hope that the five workshops will prove worthwhile, and will result in some very thought-provoking discussions by all the members.

During Business Women's Week next October, we hope to be able to arrange for a panel discussion between prominent persons in the business world and some of our own B. and P. Club members. The general feeling seems to be that the public as a whole are not aware of just what B. and P. membership means to women and that in order to increase membership, we must point out the advantages, both to women and to the men in the business world. We realize that a great deal of planning will have to be done ahead of time, if the panel discussion is to be successful but we all hope that it will achieve the desired purpose.

To be a little bit more personal, I am a secretary working for the President of one of the largest electronic manufacturers in Canada and have my own apartment. My sisters are all married and my parents have been dead for a number of years, so I live by myself. I only live two blocks from the office so consider myself extremely lucky.

With very best wishes from the members of the Leaside Club, I remain,

Luth E. Desand
President, Leaside Club.

NORTH TORONTO BUSINESS AND PROFESSIONAL WOMEN'S CLUB

Mrs. Ashdown has passed on to us a copy of your interesting letter about Women's Week. There is a popular saying on this continent that "It pays to advertise", and the truth of this statement is shown by the tremendous amounts of money constantly being spent on advertising to sell products and services. Proclaiming a week to advertise the important services and objectives of your organization, to the general public of your country, should therefore do much to make them aware of your efforts and gain further approval and support.

In their position in the home women have naturally always greatly influenced the characters of their own children, and with the coming of better education for women they became better qualified for this important duty. The emancipation of

women included in the great social and economic changes which have taken place in many countries over the past few decades has given them broader spheres of activity and they now have opportunities to offer counsel to other children in their communities who are in need of guidance, and because of their own wider horizons they are again better qualified to do so.

Any effort you make towards assisting the children of today to develop into responsible democratic citizens is to be commended, and on behalf of the 120 members of the North Toronto Business & Professional Women's Club I have pleasure in wishing you a successful Women's Week campaign.

Sincerely yours,

(Miss) Alice Johnson,
Corresponding Secretary.

THE BUSINESS AND PROFESSIONAL WOMEN'S CLUB OF SARNIA ONTARIO

The Business and Professional Women's Club of Sarnia, Ontario, Canada wish to extend to the Women's & Minors' Bureau of Tokyo their heartiest congratulations on their 13th Womens Week Anniversary which they will be celebrating in April.

We were so happy to hear of the wonderful work they are doing for the improvement of the status of women in Japan. Do keep it up.

With Best Wishes, I remain,

Sincerely your,

(Miss) Kathleen Fraser,
Corresponding Secretary,
Sarnia Business & Professional
Women's Club.

SUDBURY BUSINESS & PROFESSIONAL WOMEN'S CLUB,

On behalf of the Sudbury Business and professional Women's Club, it gives me great pleasure and personal congratulations to encourage you in the great week coming up April 10th.

We had our dinner meeting on Thursday, March 23rd, and from your letter, the Club member have signed below who were there, and all join you in relaying messages of encouragement to your women.

Hoping you all the very best in the coming years, and would appreciate hearing from you at a future time.

(Mrs.) Gertrude Smith Corr Sec.
27 Fir Lane, Sudbury, Ont. Can.

CANADIAN FEDERATION OF UNIVERSITY WOMEN

Once again the Canadian Federation of University Women is pleased to send encouragement to the women of Japan during their 13th Women's Week.

We in Canada are of the opinion that women, because of their unique qualities, can do much to promote the development of the personality of the younger generation. We are encouraged to find that Japanese women are also aware of this opportunity to play a vital role in the modern world. By intelligent leadership and responsible citizenship, Japanese women can help to mould these young people into the future worthy citizens of Japan.

Good luck to you in your endeavours to awaken women to the knowledge of their potentialities.

Yours sincerely,

(Miss) Margaret E. MacLellan
Chairman
National Committee on Status
of Women

THE NATIONAL COUNCIL OF WOMEN OF CANADA

"The National Council of Women of Canada representing three quarters of a million women in organizations sends cordial greetings to the women of Japan on the occasion of the 13th anniversary of enfranchisement.

Much has been accomplished for the women of Japan through this political power wisely used, but we believe with you that women must also assume their responsibility for the development of the moral and spiritual strength of their children through the standards and example maintained in their homes.

We congratulate you upon the theme set for Women's Week and hope its impact will bring the results you wish to achieve.

Yours sincerely,

Mrs. F. R. Duminy,
Hon. Corresponding Secretary.

CANADIAN WOMEN'S CHRISTIAN TEMPERANCE UNION

As I am the new Canadian President of the Women's Christian Temperance Union, the former president Mrs. Perigee has forwarded your letter to me.

I have read with great interest, not only your own letter, but also the program for your "Women's Week". As you are aware our W.C.T.U. has always been keenly interested in everything which pertains to the status of women and her influence and positions in society as the words of our great founder Miss Frayer E. Cuclland "Cobatage touches humanity touches us". And so, on behalf of the women of our organizations, may I extend to you our greetings, and best wishes for very successful meeting during the observance of your Women's Week.

Very sincerely,

(Mrs. W.S.) Kate Watsons
National President W.C.T.U.

UNITED NATIONS ASSOCIATION IN CANADA

The United Nations Association in Canada and the U.N.A. Committee for UNESCO most heartily join in your celebrations for "Women's Week", April 10-16, 1961.

We commend your attention to women's responsibility for educating the young toward a free and democratic next generation.

We in the UN Association in Canada and especially the members of the UNESCO Cultural Mission in 1958 will always be grateful for the most pleasant days we spent in your country thanks to both the women and the men whom we met through the arrangements of the Japanese National Commission for UNESCO.

Cordially yours,

Helen Tucker (Mrs. W. D.)
Chairman,
UNA Committee for UNESCO.

VOICE OF WOMEN

Thank you for your interesting letter of February 18th.

"Women's contribution to the growth of the next generation" as the theme of your forthcoming Women's Week, is most challenging and one which inspires the support and enthusiasm of VOICE OF WOMEN on behalf of its more than 2500 members across Canada. Indeed, it is one of our aims that women of every race, creed and colour should reach out to each other across the world in full consciousness of our special responsibility in performing the role of your theme and in working together for the preservation of all humanity in the face of the threats with which we are confronted today.

It seems to us that, as the givers of life, women are in a unique position to make this special contribution.

The emphasis you are placing on the responsibility of women in fostering the growing consciousness of youth to their particular social responsibilities inspires our deep respect. Our sincere good wishes are extended for a highly successful Women's Week.

Cordially yours,

(Mrs.) Helen Tucker	(Mrs.) J. Davis
President	Vice-President
Central Committee	

WOMEN'S INTERNATIONAL LEAGUE FOR PEACE AND FREEDOM -
Toronto Branch

The Women's International League for Peace and Freedom, Toronto branch have asked me to convey our heartiest greetings and congratulations on the occasion of your Women's Week, which will celebrate fifteen years of woman suffrage in Japan.

The Women's International League for Peace and Freedom, which is world-wide in scope, with sections in most countries of the free world, including Japan, has consultative status with the United Nations. One outstanding member who visited Japan some years ago is Dame Kathleen Lonsdale, chairman of the British section, - perhaps you will remember the warm reception given her in Japan, which she recalls with deep gratitude, and told us about, when she visited Toronto.

With best wishes for a successful Women's Week, and continued progress in your work at the Women's and Minors' Bureau.

Yours sincerely,

Leila I. Robins

YOUNG WOMEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION OF CANADA

The YWCA of Canada sends special greetings to the women of Japan for the 13th Women's Week.

Yours sincerely,

Mrs. Ryrie Smith
President.

ZONTA CLUB OF SARNIA, ONTARIO

The Sarnia Zonta Club is happy to join the many Women's Clubs of Canada in saluting the Women of Japan on their 13th Women's Week which is being held in April. We liked your theme "Women's Contribution to the Growth of the next Generation".

Our Club has reviewed your program -- the preparation for

the event; the many groups of people who are sponsoring and actively participating in it and the pre-conferences in local areas so that local opinion might be reflected at the Tokyo conference. We think you have made excellent plans.

We want to tell you how very proud we are of the Women of Japan who have gone so far and are doing so much to raise the status of Women not only in your own Country but setting an example to other Countries throughout the world.

Since the week of April 10 to 16 is already past we are sure it proved to be a memorable one. May we express our warmest greetings and best wishes for your continued success.

Sincerely yours,

(Mrs.) Margaret Brims, President
Sarnia Zonta Club.

5. CEYLON

ALL-CEYLON WOMEN'S CONFERENCE

The All Ceylon Women's Conference, with its twenty affiliated Societies, works for the welfare of women and children, and to raise the standard of the former.

We value greatly this opportunity to send most cordial greetings to the Women's Bureau of Japan as it prepares to celebrate "Women's Week" for the thirteenth time.

We are happy to see that the Government of Japan realizes the importance of educating children for citizenship, and believes that their women citizens can make a specially significant contribution to this important task.

We wish the Women of Japan all success in the realization of their aspirations and ambitions.

Ezlynn Deraniyagala
President

THE LANKA MAHILA SAMITI (NATIONAL COUNCIL OF WOMEN)

The Lanka Mahila Samiti send greetings and wishes the

13th Women's Week all success in their endeavour to encourage "Women's Contribution to the growth of the next generation". The responsibility of the mothers towards the bringing up of our next generation is all the greater in democratic countries like yours and ours. We are pledged to develop the young minds of our children to grow up into good citizens to face up to whatever problems may face them. The most vital part of a mother's duty is to instil in our children a religious background and selfless love of our country. If the next generation is imbued by these two obligations, we can assume a justifiable sense of satisfaction that we have made a worthwhile contribution to the future of this world.

We wish all mothers of Japan the fortitude to go forward in this their undertaking and we hope that they will reap good results from their efforts.

Mrs. Violet Rajapakse,
President

YOUNG WOMEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION OF CEYLON

The steadily changing pattern of Oriental life that is becoming increasingly evident calls for special consideration of specific problems that are arising in the context of democratic evolution in Eastern countries. The contribution of the womanhood of these countries to the growth of the next generation cannot be over-estimated in this connection.

There are various ways in which women can actively participate in this national effort. First in importance is the responsibility of the mother in the home. The family being the unit on which the nation is built, the mother's influence on her children is of supreme importance in shaping the thinking of the next generation. Women teachers have the next share of feminine responsibility for moulding the character of the young child, for their influence on the school children entrusted to their care, especially during the first decade of life, is a lasting one. Women who give their service to voluntary welfare organisations too have a valuable contribution to make in this direction.

Through these and other avenues of approach, women in all walks of life have great opportunities of moulding the

national spirit of the rising generation and of shaping the destiny of the world. I have no doubt that these are some of the matters that would receive appropriate attention in the discussions that are to take place during the 13th Women's Week in Japan around the important theme of women's contribution to the growth of the next generation. I send sincere and cordial greetings from Ceylon for a profitable seminar that would materially assist in the advancement of the stature of womanhood in Japan.

With best wishes,

Yours sincerely,

(Mrs Ernest Soysa)
President, YWCA of Ceylon,

6. CHINA

中華婦女反共抗俄連合會

本年4月10日至16日是日本勞働省婦人少年局所舉辦的全國第13屆婦女週、中華婦女反共抗俄聯合會代表自由中國婦女謹向日本婦女姊妹們致最誠摯的敬意並祝貴會的全部成功。

貴會本 討論主題為「婦女對下一代養育之貢獻」此一問題、實為當前極有意義之問題。良以在此無論是思想精神上或物質環境上日益複雜化的社會中對於下一代之養育、實為我們婦女所面臨的嚴重問題。中國孔子曾提示修身、齊家治國、平天下的道理、中國國父孫中山先生亦有「社會之隆污繫於人心之振靡」的訓示、均可說明我們對於下一代養育問題之重視、而對於下一代高尚人格之陶冶、使其免除邪惡思想之誘惑、尤為再三致意。

自由中國婦女近年並曾有「幸福家庭」的運動、其目的與重要的活動項目、亦即注重於下一代的養育問題、此與日本婦女當前所致力者、可謂不謀而合。

此外、我們了解未來基於日本婦女活動的增進、社會地位日益提高、可謂業已發揮充分之智慧與能力、貢獻於貴國社會之共同福利、此尤為自由中國婦女所衷心祝賀與欽佩者。中華婦女反共抗俄聯合會叩

7. CZECHOSLOVAKIA

COMMITTEE OF CZECHOSLOVAK WOMEN

In the name of Czechoslovak women we greet you on the occasion of the thirteenth womens week anniversary that became the outstanding event in the status of women of Japan. We wish you to reach all success in the fight for equality of Japanese women so that your effort will support assurance of happy life and all children in peace. We are convinced that the effort of all mothers and women not only in the education of children but also in the fight for world peace and bright future of all nations will bring rich fruits. Accept the wishes of all success in your further deserving activity.

Committee of
Czechoslovak Women

8. DENMARK

DANSKE KVINDERS NATIONALRÅD

The National Council of Women in Denmark sends you greetings for your 13th Women's Week.

In other Women's Weeks you have with great success encouraged the women in Japan to take part in public life.

But together with their activities on the Labour market and in public life women have the responsibility for the health, physical and mental growth of the next generation, that they as good citizens may further the democratic ideas we believe in.

With best wishes for a successfull Women's Week.

Sincerely yours

Elselunete Ross
President.

9. FINLAND

THE NATIONAL COUNCIL OF WOMEN OF FINLAND

The Finnish women send with pleasure through the National Council of Women of Finland their best greetings to the Japanese Women when celebrating their 13th Women's Week.

The Finnish women have noticed the very significant theme set for this coming Women's Week: "Women's contribution to the growth of the next generation". This is to show that problems are the same even though our countries are in the other side of the world.

Yours very sincerely

Margit Borg-Sundman
President

Saara Rantanen
Secretary

10. FRANCE

CONSEIL NATIONAL DES FEMMES FRANCAISES

A l'occasion de la 13me Semaine de la Femme Japonaise et de l'exercice du droit de vote par les femmes japonaises nous vous envoyons le salut fraternel des femmes francaises groupées dans le CONSEIL NATIONAL DES FEMMES FRANCAISES.

Le theme choisi pour vos entretiens est d'un interet considerable pour les femmes dans le monde entier car l'evolution actuelle est si rapide qu'il faut faire tous nos efforts pour que le fossé entre les generations ne soit pas trop considerable. Il nous faut a la fois admettre que les jeunes ont a faire face a un monde qui sera different du notre et savoir adapter, pour leur etre utiles, notre experience a leurs conceptions et a leurs besoins.

Je pense pouvoir faire parler de votre "Semaine" a la radio Francaise.

Veuillez agréer, chere Madame, tous nos voeux pour la réussite de votre entreprise et l'expression de notre sympathie.

M^{me} M. H. LEFAUCHEUX
Presidente du CONSEIL NATIONAL DES FEMMES FRANCAISES

FEDERATION FRANCAISE DES ECLAIREUSES

" MEILLEURS SOUHAITS ET VOEUX SUCCES-DEMAIN DE LA FEMME

AMITIES "

Federation Francaise des Eclaireuses

11. GERMANY

DR. ELISABETH SCHWARZHaupt

Als Vertreterin des Evangelischen Frauenwerks und der akademischen Frauenvereinigung in Deutschland habe ich den Auftrag, Ihnen zum 9. Frauenkongress die herzlichsten Grusse der deutschen Frauen zu uberbringen. Nach allem, was ich in der kurzen Zeit meines Aufenthaltes in diesem Land über die Probleme und die Aufgaben der japanischen Frauen in der Familie, im Beruf und auch im politischen Leben gehört und gesehen habe, bin ich gewiss, dass Sie in diesen Tagen dem tiefsten Mitgefühl der Frauen aus der ganzen Welt begegnen werden. Die Gesellschaft braucht die Zusammenarbeit von Mannern und Frauen, dabei dürfen aber die besonderen Aufgaben und Rechte der Frauen nicht übersehen werden. Die Frauen müssen den Schatz, der unseren Volkern in unseren Familien und Kindern gegeben ist, nicht preisgeben, auch nicht, wenn sich die Verhältnisse entscheidend wandeln. Auch die deutschen Frauen haben kein fertiges Rezept dafür, in welcher Weise die notwendigen Aufgaben zu erfüllen sind. Aber es ist gut, wenn wir wissen, dass nahezu alle Frauen in der Welt über die Probleme der Frau in Beruf, Familie und in der Öffentlichkeit nachdenken.

MISS MAGDA STAUDINGER

Warmest greetings and many good wishes for you and for your Women's Week

Sincerely yours,

Magda Staudinger

DEUTSCHE VERBAND BERUFSTAETIGER FRAUEN

Der Deutsche Verband Berufstätiger Frauen übersendet Zur "Woche der Frau" seine Grusse. Wir erinnern uns an die freundschaftlichen Beziehungen unserer Lander, die bereits vor 100 Jahren durch die Unterzeichnung eines Freundschafts-Handels-Schiffahrtsvertrages besiegelt wurden. Die gemeinsame Basis, die die berufstätige japanische Frau mit uns verbindet, ihre Arbeit in der "International Federation of Business and Professional Women", der auch wir angehören, lassen uns hoffen, dass sich diese Beziehungen auch weiter vertiefen werden.

Mit herzlicher Verbundenheit

(Tisi Zschocke)
Präsidentin

GERMAN ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN

The thoughts and the best wishes of the German Association of University Women will be with the members of the Japanese Association during the 13th Women's Week being held from April 10th. As a sign of the friendship of and of the close contact between the two associations we send you this beautiful picture postcard, a smaller reproduction of the wonderful picture your association sent us through Dr. Staudinger, member of our Board, who visited Japan some years ago. The proceeds of the sale of these postcards served to help in a high degree displaced university women in Germany. This would not have been possible without your kind help for which we cannot be grateful enough.

Sincerely Yours,

Dr. Marga Anders

12. INDIA

SMT. LAKSHMI MENON, UNION DEPUTY

MINISTER FOR EXTERNAL AFFAIRS

On the occasion of the 13th Womens Week of Japan I bring to you greetings from the All India Women's Conference and Women of India. May I on their behalf assure you that we identify ourselves with the ideals and aspirations of women all over the world to build a better world for the next generation.

In the past years we have been content to send our messages and greetings to you. Today I am given the opportunity of being here in person. This is indeed an unforgettable experience which I will be happy and proud to share with my sisters in India.

The theme that you have chosen for the occasion symbolises our common concern for a world which seems to be ever on the brink of war and annihilation. The question before us is, are we, by our lack of understanding, carelessness and selfishness, going to be spectators in this impending drama of total destruction or are we going to work together to assure the continued growth of civilisation which mankind has taken thousands of years to build and develop?

Hitherto women have received very little attention or thought as to the part they are capable of playing in changing the destiny of mankind. Today with the attainment of political, social and economic rights we have a certain obligation to fulfil and task to perform by giving new direction to the changes around us. We have to set new standards of conduct, discover new and wider horizons of thought and reach new goals of co-operative living and enduring peace. I have no hesitation in saying that if women use the power they have obtained by centuries of hard work and untold suffering for liberalising nationalism, for promoting humanism, we would have indeed deserved our present position of freedom and equality. We in India think that while the achievement of political right is good in itself, it is only a small step towards the great tasks ahead. Women and women's organisations should come together on a common platform to exchange ideas, understand problems which are of vital interest to

our survival and progress and work in cooperation to reach our prescribed goals of happy and peaceful co-existence. I am sure we, women can do it if we forget our superficial differences and seek to understand the fundamentals of unity. To strive to seek, to find and not to yield should be our purpose.

I shall be failing in my duty if I do not congratulate the Government of Japan for sponsoring the Women's Week and the Ministry of Labor and Japan Broadcasting Corp. for this programme of the National Women's Conference.

The women of India wish all the best for their sisters in Japan and we hope that, together, we will be able to work for the attainment of our cherished goals of enduring peace, freedom and equality for all members of the human family.

MRS. DURGABA: DESHMUKH, CHAIRMAN
CENTRAL SOCIAL WELFARE BOARD

Your letter dated the 18th February 1961, and thank you for the same.

I am glad to know that the Ministry of Labor is organising the 13th Women's Week from the 10th of April, to commemorate the first practice of voting by the Japanese women in 1946. I congratulate you for having chosen a very fine theme for the Women's Week, i.e. "Women's contribution to the growth of the next generation". This subject, I consider, is of great importance in the present day world and the Conference is rightly going to concentrate on the study of this subject, finally to find out ways and means of implementing this scheme effectively. I remember that I have had the honour of addressing this gathering last time in the month of April 1960 when I happened to be in Tokyo as the guest of the International House of Japan.

I am happy to send my good wishes for the success of the celebrations in connection with the "Women's Week" and hope that the deliberations will not only be of great importance,

but also very useful in the planning of the programmes not only in Japan, but also elsewhere.

With my sincere good wishes,

Yours sincerely,

(DURGABAI DESHMUKH)

ALL - INDIA WOMEN'S CONFERENCE

Congratulations on the celebration of the 13th Women's Week in Japan under the sponsorship of the Ministry of Labour.

The All India Women's Conference have watched with great interest the striking advances made by Japanese women in the past few years, due to the granting to them of the right to vote. For the franchise is merely a symbol of the right to participate, equally with the men, in the affairs of the nation, which women everywhere have asked for.

Women's problems are very similar all over the world and improvement in the status of women anywhere in the world is a joy to other women working for the same cause in their own countries.

Women have a vital role to play as the mothers of children, whose physical, mental and emotional needs have to be attended to very carefully these days, so that they may turn out to be good and useful citizens in the future — a credit to their families and their nation. Women are always willing to make sacrifices for their families and the Japanese woman has been a by-word in the past for her spirit of self-abnegation. But sacrifice alone is not enough. The traditional wisdom gathered through generations of experience must be fortified with present day knowledge, to be properly effective at this juncture.

Therefore, all efforts must be directed to educating the masses of the women to play their proper role in society. Any expenditure incurred for this purpose is repaid a thousand fold in happy homes and good citizens, when women rise to their full stature in society.

My best wishes for a very successful Women's Week.

Mithan J. Lam
President, All India Women's
Conference.

13. IRAQ

THE REPUBLICAN WOMEN ORGANIZATION IN IRAQ

The republican women organization in Iraq send its hearty greetings to your conference and wish you a great success in implementing your resolutions for the posterity and wellbeing of all women in Japan.

14. ISRAEL

WOMEN'S COUNCIL OF ISRAEL

Best wishes thirteenth womens week. May maternal love wisdom serve educational influence of family and all humanity.

Women Council Israel

COUNCIL OF WOMEN'S ORGANIZATION IN ISRAEL

We have your letter of February 18th on the theme of this year's Women's Week - "Women's Contribution to the Growth of the next Generation".

We sent you cabled greetings which we hope you received. We are very much interested in the work of your Bureau and in the status of women in Japan, in general. Our contact with your country has been unfortunately a "LONG DISTANCE" one since it is only rarely that there is opportunity for personal contact. However, such meetings as we have had (with visiting Japanese students to the Afro-Asian Institute) have only served to stimulate our interest.

May we ask you to send us some record of your Women's Week and any other material available.

Our Council changes its quarters - and its Chairman - every three years. I have the honor of being the new chairman, and the new council address is:

93 Arlosoroff Street,
Tel-Aviv, Israel.

With kindest greetings, I am,

Sincerely,

Shoshana Hareli

WOMEN'S INTERNATIONAL ZIONIST ORGANISATION

We are indeed very happy to be afforded the privilege of extending to the women of Japan our Organization's best wishes for the success of the 13th Women's Week. The choice of the theme - Women's Contribution to the growth of the next Generation - was indeed an excellent one, for it is truly the mothers who have the greatest share and responsibility in the upbringing of children. And, in these fast changing times, the vital role of moulding the future generation is no easy matter. To carry out this task successfully, it is absolutely imperative that women receive their rightful status as equal citizens in every country.

Your campaign, therefore, certainly deserves every support from all women throughout the world. We send you greetings and good wishes from the women of Israel for a successful and fruitful 13th Women's Week.

With kind regards,

Yours sincerely,

Rebecca D. Sieff,
President,

Rosa Ginossar,
Chairman,
World WIZO Executive.

15. JORDAN

UNITED SOCIAL WOMEN WELFARE
ASSOCIATION NABLUS DISTRICT
HASHIMITE KINGDOM OF JORDAN

Hearty congratulation for the valuable work you are performing. We deeply appreciate your contribution to the welfare of the women's union and the welfare of the generation of the mankind.

Shukry Said Secretary

EXECUTIVE COMMITTEE OF THE LEAGUE OF
VOLUNTARY SOCIETIES OF AMMAN

The executive committee of the league of voluntary societies of Amman on behalf of its women members cordially share with the Japanese women the celebration of their thirteenth week and convey their best wishes for mutual success in furthering democracy and bringing up generations of minors who can bear their full responsibility for the embetterment of human life.

President

WOMEN'S VOLUNTARY AID SOCIETY

Women's Voluntary Aid Society Amman supports and wishes the conference all success.

Nimra Said Secretary

16. NETHERLAND

NETHERLANDS ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN

The Netherlands Association of University Women wishes you a successful Women's Week emphasising "Women's contribution to the growth of the next generation" and hopes that the Japanese Association of University Women will be able to contribute with their wisdom and intelligence.

Ida Siccama

Chairman Committee of
International Relations

17. PAKISTAN

ALL PAKISTAN WOMEN'S ASSOCIATION

Both personally and on behalf of the All Pakistan Women's Association I send friendly greetings to our sisters in Japan and warmest good wishes for the continuing success of the splendid work they are doing. We the women of Pakistan stand shoulder to shoulder with our sisters throughout the world in the cause of uplift and development of women in all walks of life and in all spheres of their activity.

We send to you our sincere and good wishes in your field of work and for the success of the conference.

(BEGUM H. I. RAHIMTOOLA)
CHAIRMAN,
NATIONAL EXECUTIVE

18. POLAND

LEAGUE OF POLISH WOMEN

I read with pleasure your information about the coming festivities program commemorating the first voting practice of the Japanese Woman.

Your letter reached us at a time where the Polish women are preparing for active participation in the election campaign for the Parliament and the People's Councils, which will take place April next. Although the Polish women have acquired these rights already in 1918 - they received full opportunity to develop their initiative and talents, as well as the opportunity to exercise fully their rights - only after the Second World War. Our women's organisation takes active part in the election campaign as it is our great ambition to see the

greatest possible amount of educated, active and devoted women assuming the highly responsible posts in the Parliament and the People's Councils.

We are following with ever growing interest the activities of Japan's womanhood, their unshaken struggle for peace, and we beg you dear Madam, to transmit to them the warmest wishes and greetings from the women of Poland.

Wishing you further successes in your work for the welfare of your people.

Yours sincerely

Alicja Musialowa

Chairman

POLISH NATIONAL CO-OPERATIVE DEPARTMENT
OF THE WOMEN'S LEAGUE

On behalf of two million and a half Polish women co-operators, members of the National Co-operative Department of the Women's League, we send you many sincere greetings on the occasion of the 13th Women's Week. At the same time we wish you further achievements in your work for the welfare of the Japanese nation and for the happiness of your families as well as in your campaign aiming at the establishment of peace throughout the world.

We are glad to say that we take much interest in the theme of your present Week. We are also of the opinion that women's contribution to the development of the future generation is a problem of great importance. The influence of the mother upon the growth of the intellect and character of the young cannot be overestimated. Thus, there are almost 50 per cent women among Polish physicians and almost pediatricians are women. It is women who protect the health of our children and who take care of their physical development. All instructors in nurseries are women and women are in majority among the teaching staff of primary and secondary schools. If only these facts are taken into account it is

obvious that women play an outstanding part in the growth of the next generation.

All women in the whole world are certainly first and foremost interested in securing the most prosperous future for their children. Schools in Poland are available to all children, both girls and boys. In 1960 there were 153,378 girls among the graduates from primary schools totalling 291,765. 55,980 women study at higher schools, i.e., 35 per cent of the total, and in some fields, such as psychology, biology, pedagogy and philology there are 90 per cent, 80 per cent, 75 per cent and 70 per cent women students, respectively. We are very pleased to have foreign students at our higher schools. There are 68 students from China, 303 - from Korea, 60 - from Vietnam and 12 from Indonesia, altogether 916 foreign students.

We are in a particularly privileged position in this country since every young man or woman is sure to get a job in a profession they were trained in. As a rule women have a free access to all professions except those which may be dangerous to their health. All positions are available to them as well. The number of women who hold responsible positions in many fields of our economic, social and cultural life constantly increases.

Incidentally, the general election to the Sejm and to local bodies of the people's government - national councils - will be held in this country almost simultaneously with the celebration of the Women's Week in far-off Japan. Women in Poland were admitted to the suffrage as early as 1921 and since that date they vote and may be elected to the State and local authorities. In the present election campaign there are 22 per cent of women among the candidates to the local national councils and we hope that at least sixty women will be elected deputies to the Polish Sejm.

Polish women co-operators attach much attention to the problems connected with children's protection and their education. We teach our women how to bring up children in a reasonable way, how to feed them and how to develop their interest in valuable human qualities. Apart from economic activities, such as provisioning the population in the articles of everyday use, producing consumption goods and goods needed for the agricultural production, processing,

purchasing the agricultural produce and rendering numerous services -- our co-operatives conduct a cultural and educational work on a large scale. Owing to women's initiative there are special corners for children in the co-operative common rooms where they learn many useful crafts, such as photography, modelling, etc. Children have also their own common rooms in which they meet, arrange various games, prepare their exercises with the help of an instructor, etc. Our co-operatives use a part of their financial surplus for salaries paid to the teachers of music, singing and foreign languages who train children in the co-operative common rooms. We set up a number of children's dance, song and music ensembles which prepare special performances on the occasion of the "Mother's Day" celebrated in Poland every year.

We attempt to acquaint children with the idea of common work at an early stage of their lives and that is why there are 20 per cent schools with pupils' co-operatives. These co-operatives observe the same rules as those binding the adults' co-operatives, and it is children who manage these co-operatives and carry on all the duties in them. These co-operatives run shops with books and stationery, and book-binderies, and they produce toys and many small details of various kinds. Some of the pupils' co-operatives, especially those in the country, cultivate their school gardens, plant medical plants, and collect and dry herbs, as well as breed chicken and rabbits. Owing to all these common works the pupils' co-operatives develop the productiveness, organizational skill and all the abilities allowing for the solution of everyday problems through common effort.

When discussing the participation of women in the education of the future generation which is the theme of your Women's Week, it is worth adding that production of toys is mainly in the co-operative hands in Poland. Women are very much interested in this field of production since a toy should not serve only for amusement but also for educational purposes. We want to have such toys which wake love for beauty, and respect for human work, acquaint them with new technical advances and teach common life in a team. We discard all these toys which could spoil young characters and accustom children to the ill habits. Thus, we do not permit the production of such toys as guns, cannons, handcuffs, etc. We want our children to live in the atmosphere of peace and respect for a human being because we want for them peace

which is the fundamental condition of their happiness and welfare of all people in the world.

Polish women know the atrocities of the war from their own experience and all the more they want to serve the cause of peace. They want to develop friendly relations with women in various countries. They are convinced that mutual understanding between people serves the defence of peace. Recently we celebrated in this country the day of the international solidarity of women which falls every year on March 8. Our co-operative women's organization collaborates with many foreign organizations of the same character. We share experience with them, we receive them here as our guests, and we would welcome in Poland also the delegates of the women from Japan.

We are convinced that the cause of peace is also for you the most important one. We wish you, Dear Sisters, the best success in your work for the welfare of your children. May they never experience the cruelties of the war, may they live in such a world in which all the people will love peace, understand each other and have friendly feelings towards all people irrespective of race, political outlook, language or religion. We hope that these ideas will win support of the majority of the people of goodwill in the whole world.

19. PORTUGAL

OBRA DAS MÃES PELO EDUCACAO NACIONAL

The O.M.E.N. - the Portuguese "Mothers Organisation for Education" extends her best greetings to the "Womens & Minors Bureau" on the occasion of "The Womens Week".

The future of the next generation depends now even more than on other periods of history of mankind on the Devotion, Care and Love of women for their children.

A glorious mission, as always, but with new and more difficult tasks to perform in a world where so many respectful traditions have been abandoned and a new structure must be

found to maintain women's right to shape the pattern of the future in accordance with the moral ideal they defend.

20. SPAIN

SPANISH FEMININE ORGANIZATION FOR
CULTURE AND SOCIAL WELFARE

I have received notice, with pleasure, of the Women's & Minors' Bureau's next meeting in Japan, under the sponsorship of the Ministry of Labor, which will deal with so many matters that are of great interest to all women all over the world, and I beg to present to the honorable members of the Japanese Committee our best wishes for the best success of the meeting and for the future developments that will undoubtedly benefit all women in Japan in raising their personality for the greatness of their country."

Sincerely yours,

Pilar Primo de Rivera
President

21. SWEDEN

THE FREDRIKA BREMER ASSOCIATION

Japanese women of to-day are conscious of their responsibilities and foreseeing citizens, persistently working on making their sisters conscious of and qualified for intelligently using their recently obtained freedom, as well as making men change their traditional outlook on women in public life. In commemoration of the 13th Women's Week we send our heartiest greetings with many hopes of further success.

Inger Leijonhufvud
President

SVENSKA KVINNORS NATIONALFÖRBUND

STOCKHOLM

Like previous years we have the pleasure to send you our best greetings and wishes for a successful 13th Women's Week.

The theme for your discussions is very important and interesting; I am happy to tell you that in our country it is almost an axiom that the mothers are the best and most-natural educators of their children. Here we (at least the women!) are convinced that we are wise, intelligent and as fit as our men to take care of the growing generation. So I wish you good luck with your husbands and tutors.

With best wishes

Yours sincerely,

Maud Arnoldson
Hon. corr. secr.

22. SWITZERLAND

THE NATIONAL COUNCIL OF WOMEN OF SWITZERLAND

It is with great pleasure and admiration that we study the program of the 13th Women's Week and send you our warmest wishes for its success.

Needless to say, our Council, too, is deeply interested in the education of the young generation to responsible citizenship. Moreover, we hope that the coming generation will live to see the right of voting accorded to all Swiss women as it was accorded to the women of your country 15 years ago.

With renewed best wishes for your activities and efforts,

Yours sincerely,

Dora J. Rittmeyer-Iselin
The President

23. TURKEY

GENERAL CENTER OF TURKISH WOMAN'S UNION

Those who command the destinies of nations and prepare them happy tomorrows and those again who feel proud of them boast existence of these nations are their women.

Each nation must give value to its women and elevate them to the level which they deserve according to the rights which it recognizes them and by the degree of responsibility which it gives them. We would express with gratitude that almost all the civilized nations have surrendered them their noble rights, have recognized and made them recognized.

This nice gesture has created a great pleasure in the world of womanhood, made her a voluntary soldier of the road of happiness and stimulated her to work relentlessly on this road.

There is no doubt whatever that, the noblest and greatest duty of the woman to its Homeland is the duty of motherhood.

Woman must spend that being which she calls her child, bestowed to her by the creative capacity of the Almighty God with artists care, for creativeness, must bring or him up by thinking to his role in the future. And this is only possible by realisation of generations having feelings of sound characters of love for homeland country and respecting the great ideals of humanity.

Woman must feel a great pride for this being which she creates and must thus be able to say with a great tranquility of conscience that she has done her duty. There are Commanders, Scholars, Geniuses and Artists who have passed to the history of nations and whose names are written with golden letters and as we bow before the memories of these great men we also remember with gratitude their mothers who brought them up.

Today, on the 13th anniversary of the recognition of the right to vote to the honorable women of the great Japanese Empire we participate with all our hearts to the joy which they deservedly feel, we wish them a happy day and bright future and we present the love, respect and congrat-

ulations of the Turkish woman.

General President of the
Turkish Woman's Union

Feriha Ozturk

24. UNITED KINGDOM

THE NATIONAL COUNCIL OF WOMEN OF GREAT BRITAIN

Thank you for your letter of February 18th.
We were most interested in the reports you sent us of last year's Women's Week.

I have the greatest pleasure in sending you greetings and every good wish from my Council both for the coming Women's Week on April 10th and for the continuing success of the women of Japan in their work for the children and young people of your country.

Yours sincerely,

Joan Robins
President.

NATIONAL INSTITUTE OF HOUSEWORKERS

I am very glad to know of your plans for the Women's Week, and its outstandingly important theme and wish you all every success.

The work of the Women's and Minors' Bureau in considering the possibility of starting a Home Help Service in Japan should help, if successful, in relieving strain in the home and make a real contribution to the "growth of the coming generation".

Dorothy M. Elliott,
Chairman - National
Institute of Houseworkers.

NATIONAL WOMEN CITIZEN'S ASSOCIATION

May I send to you every good wish for the success of women's Week 10 - 16th April, to commemorate the first practise of voting by the Japanese women in 1946.

We congratulate you on your theme "Women's contribution to the growth of the next generation" and wish you well in your very worthy and high ideals.

We shall be interested to hear the results of your "Week", and if there is anything we can do to further your aims for inculcating the true ideals of citizenship, we should be happy to assist you.

Yours sincerely,

(Miss) Lillian Wood
President, N.W.C.A.

25. UNITED STATES OF AMERICA

MISS FLORENCE E. ALLEN, SENIOR UNITED STATES
CIRCUIT JUDGE

I am glad that Miss Jessie Arndt, of the Christian Science Monitor recently sent me a copy of your letter of February 18, 1961, with reference to the 13th Women's Week, which is to begin in Japan on April 10, 1951.

The letter brought me many wonderful memories of your country in which our International Federation of Women Lawyers held a Conference for a week in 1952. We visited your courts, and in addition to enjoying Tokyo we had the indescribable pleasure of going to Nikko. We shall never forget the Cryptomeria Road. In addition to the pleasure we derived from the beauty and charm of your country, we also enjoyed delightful hospitality at the hands of Chief Justice Tanaka of the Japanese Supreme Court, and many Women judges and lawyers. The Federation was making a trip around the world and the friendship shown us in Japan was outstanding.

I congratulate you upon the celebration of your Women's Week which has been established in your country for so long as 13 years. Your conception of the all-important role of women in the community is entirely right. If women all over the world properly fulfill their obligation to the boys and girls who constitute the coming race we shall aid greatly in the solution, not only of domestic, but also of international problems. After all friendship in the heart and universal tolerance is the basis of friendship and harmony between the leading nations such as Japan and the United States.

Please extend my best wishes to the women who are planning and taking part in this celebration, and with cordial regards to yourself,

Very sincerely yours

Florence E. Allen
Senior United States
Circuit Judge

MISS JESSIE ASH ARNDT, WOMAN'S
EDITOR OF THE CHRISTIAN SCIENCE MONITOR

It was a pleasure to receive your letter telling of the plan to celebrate from April 10 the 13th Women's Week, under the sponsorship of the Ministry of Labor, commemorating the first voting by Japanese women.

You are wise to put emphasis on the role of women in rearing their children to be responsible citizens of their country. Every young person today needs to have a sense of responsibility for helping to make a better world. This has to begin in the homes in every country.

When I was in Japan in 1959, interviewing Japanese women, including yourself, I was much impressed by the contribution they were making to social and political progress. Women of both Japan and the United States have found, I believe, that they can maintain their homes, care for their families, and at the same time take an active interest in the welfare of their communities. The home should be the

center but not necessarily the boundary of their activities.

With every good wish to you and the women of your country,

Sincerely yours,

(Miss) Jessie Ash Arndt
Woman's Editor

MISS. FRANCES P BOLTON, CONGRESSMAN

MY GREETINGS AND BEST WISHES TO THE WOMEN OF JAPAN
AS YOU COMMEMORATE YOUR FIFTEENTH ANNIVERSARY OF VOTING
WE AMERICAN WOMEN WILL NOT FORGET YOUR GRACIOUS WELCOME
TO OUR WOMEN LAYERS IN 1952

CONGRESSMAN FRANCES P BOLTON

MRS. P. PADOVER, WRITER

Our congratulations on the Bureau's many achievements since it was first organized - and all good wishes from the Sensei and myself for a long and successful future! And now that we have the pleasure of knowing you and other members of the Bureau such as Mrs. Takahashi and Miss Kitagawa, we know that the future can only be brilliant and successful! And may this anniversary of the Women's and Minors' Bureau be a joyous celebration! For the women of Japan have reason to be proud and happy about what they have so far accomplished - in so short a time!

I regret very much not being able to attend the Women's Conference this year - I learned so much last year. Since we returned, I have given several talks and been on the radio (a very popular woman's program over WOR - MARTHA DEANE)- and each time, you may be sure, I have spoken of the Women's and Minors' Bureau - and its work! If you should come to New York, I know that Miss Deane would love to interview you on the air. She is an intelligent and

capable woman and I think you would enjoy her too.

We are sorry that "yo-san" interfered with our seeing you during our brief stopover in Tokyo at the New Year. We expect to be returning in June - to go to a Conference of Japanese Professors in Kyoto, and will hope to see you then.

The "sakura" must be blooming now - I remember with great pleasure our drive along the palace Moat near the British Embassy - after luncheon - last year - when they were in full bloom! May you have a lovely Spring this year!

Cordially,

Prg Padover

MRS. ESTHER PETERSON, DIRECTOR WOMEN'S BUREAU
U.S. DEPARTMENT OF LABOUR

As I read the theme of the 13th Women's Week in Japan, "Women's contribution to the growth of the next generation," my thoughts went first to the mother's contribution to her own children. Certainly our children are our first and most important responsibility but our obligations do not end there with our own families. We must work together to see to it that all young people have greater opportunities for education, useful employment, decent working and living conditions. We must help the next generation to know and treasure the privileges and obligations of living in a free democratic society, so that together we build a better world for all.

Women's Bureau staff members join me in wishing the Japanese Women's and Minors' Bureau and all Japanese women, great success in the celebration of the 13th Women's Week and in all your undertakings.

Sincerely yours,

(Mrs.) Ester Peterson
Director

MISS MARGARET CHASE SMITH, U.S. SENATOR

I extend my congratulations and commendation to the women of Japan on the commemoration of the first practice of voting by Japanese women in 1946. It is with great admiration that I view the very splendid progress that the women of Japan have made.

Sincerely yours,

Margaret Chase Smith
United States Senator

MISS MARIETT TUWMEIMAN, ATTORNEY AND COUNSELLOR

I send congratulations and good wishes to the Japanese women on the 13th Women's Week, under your sponsorship, commemorating their first practice of voting; especially to the lawyers met there this past summer, with the International Federation of Women Lawyers.

Very truly yours,

Mariett Tuwmeiman
Attorney and Counsellor

MISS ETHEL B. WEED

My thoughts are with you in all of your meetings from Wakkanai to Kagoshima. I congratulate the housewives, the women in agricultural cooperatives, the working women in city and country on all you have been accomplishing since I last saw you in Japan. I watch from afar all that you do, cherish the news I hear about your accomplishments when your own representatives or leaders from other countries visit me here. I worry when I read notices of floods or earthquakes, typhoons or other catastrophes hitting your homes; rejoice when crops are good and I read of Japan's prosperity and how much has changed since I last saw you. Sometimes news comes of the marriage of daughters of friends I had in various parts of the country; of the promotion of sons; and I wish I could see you in person on such joyful occasions, for despite the fact that I have been away from Japan for a long time, I still

feel very great interest in all that you do and all that happens to you either personally or publicly.

And I wish that more of you could visit my home as I have visited yours.

I watch all of your elections closely and am glad to see that women continually grow in influence and understanding of the workings of democracy. I rejoice in the election of responsible women to official posts and the appointment of others to important government positions.

In short, I am proud to have been among you and treasure greatly many memories of you as you searched for ways of intelligently influencing events in your villages, your towns, your country, and now - in the world. Much of what you do gives inspiration to other women in less fortunate countries.

On this Women's Day, I send you, the Women of Japan, my warmest personal greetings.

Most sincerely,

Ethel B. Weed

AMERICAN ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN

Again the American Association of University women takes pleasure in congratulating the women of Japan as you celebrate Women's Week and observe the anniversary of the granting of suffrage to Japanese women.

The improvement of the status of women in Japan has been a source of great satisfaction to all women who are citizens of democratic societies. Out of wars and depressions women have become identified in the total life of their respective countries. They bring to their communities their own peculiar talents which influence community and national problems and their duties to their families are not diminished because other and wider duties are demanded of them.

The AAUW is happy indeed to take this opportunity of greeting the women of Japan and of extending our congratulations on their outstanding achievements.

Very sincerely yours,

Mrs. Herbert E. Hawkes
President

AMERICAN ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN

The Status of Women Committee of the American Association of University Women extends greetings to the women of Japan as they observe Women's Week. The Committee is especially interested in the theme of Women's Week, "Women's contribution to the growth of the next generation." For its own work for the coming year the Committee has selected the theme "The College Woman as a Community Asset," and it intends to emphasize the responsibility of and opportunity for women to contribute to their communities by taking part in voluntary activities and by holding public office. The mother who participates actively in community affairs is not only contributing directly to the life of the community, but is training, by example, her children in responsible citizenship.

We welcome this opportunity to congratulate the women of Japan on the 13th anniversary of woman suffrage in their country and in offer our best wishes for your celebration of Women's Week.

Sincerely,

Isabel Forker
Chairman
Status of Women Committee

AMERICAN FRIENDS SERVICE COMMITTEE

We have been informed that you are celebrating Women's Week" from April 10th to 17th to pay homage to the place of women in the life of your country.

We of the American Friends Service Committee are happy to hear of this observation.

As long ago as three hundred years when the Religious Society

of Friends was taking shape in England, women occupied a quite peculiarly prominent place in its life. Throughout its history Quaker women have continued to act as leaders in the movement, and some of them have taken revolutionary initiatives in helping women everywhere to take their proper place in world society.

Mankind desperately needs the sensitivity and the morality and the influence upon the younger generation which women can bear, and we express our hope that Japanese women may exercise real leadership at home and in the wider world.

Yours sincerely

Colin W. Bell
Executive Secretary

CARRIE CHAPMAN CATT MEMORIAL FUND, INC.

I am happy to have this opportunity to extend to the women of Japan, through the Women's and Minors' Bureau, the good wishes of the Carrie Chapman Catt Memorial Fund on the occasion of the 13th Women's Week, commemorating the first vote by Japanese women in 1946. Certainly the theme for the week -- "Women's contribution to the growth of the next generation" -- is a valid and most valuable one; surely the kind of world our children will inhabit will to a large measure be shaped by the kind of citizens they become.

With all best wishes to the women of Japan,

I am

Sincerely yours,

Mrs. John G. Lee
President

COMMITTEE OF CORRESPONDENCE

May the Committee of Correspondence join with your

many other friends in wishing you well for the 13th Women's Week.

We are particularly interested by your theme "Women's contribution to the growth of the next generation". The preparation of young people for the fast-moving world we of older years cannot ourselves fully visualize seems an especially fruitful subject for discussion. We have been conferring on it within the month with a number of groups, both American groups and international groups. We find it to be a profoundly interesting and absorbing area for deep consideration and will be eagerly looking forward to any reports or summaries that may be issued after your programs. The problems of developing initiative, creativity and flexibility in the young without losing the values of discipline and order have been a major interest in our groups. It will be interesting to know if this is also part of your discussions.

With heartfelt congratulations and every good wish.

Sincerely,

G. Alison Raymond (Miss)
Executive Director

COUNTRY WOMEN'S COUNCIL, U.S.A.

It is again my privilege to send to you and your organization, the Womens and Minor's Bureau, congratulations on your progress in your work.

I understand your theme for the coming Women's Week is "Womens Contribution to the Growth of the Next Generation". Surely women of all walks of life will be intensely interested in this theme. Their wise guidance will set the pattern for the coming generation. It is the young people of today that are the leaders tomorrow and the women's influence now may have great bearing on the future.

Responsible citizens are aware that democracy must be steadily nurtured so as to grow for the good of the whole nation. I understand that many organizations in Japan

contribute much to this Women's Week and it is again my pleasure to express congratulations on your efforts.

Sincerely yours,

Mrs. Everett Spangler, Chairman

GENERAL FEDERATION OF WOMENS CLUBS

It is my pleasure on behalf of the General Federation of Women's Clubs to send greetings to your organization on this anniversary commemorating the establishment of voting rights for women in Japan.

Interestingly enough, the theme you have chosen for your 13th Women's Week celebration is very similar to the purpose of my own Administration which is "Responsible, Responsive Citizenship for Survival."

Surely this similarity of objectives by women across half a world, coupled with the unremitting work we must all do together to foster friendship and understanding, will not fail to help in the cause of peace.

My congratulations to the Women's and Minors' Bureau and the women of Japan for their efforts and accomplishments in these past fifteen years.

Sincerely,

Mrs. E. Lee Ozbirn
President

NATIONAL COUNCIL OF CATHOLIC WOMEN

NATIONAL COUNCIL CATHOLIC WOMEN CONGRATULATES YOU THIRTEENTH ANNIVERSARY WOMENS VOTING RIGHTS. THROUGH THOUGHTFUL VOTING WOMEN CAN AID HOME, COMMUNITY, NATION, WORLD

LIZABETH ZEPF MRS ARTHUR PRESIDENT

LEAGUE OF WOMEN VOTERS OF THE U.S.

Every spring when cherry trees in Washington, D.C. blossom, the League of Women Voters of the United States is reminded of its many friends in Japan.

This April the ties between the women of both nations are especially remembered as the Women's and Minors' Bureau holds its anniversary week to commemorate the granting of suffrage fifteen years ago to the women of Japan.

During your 13th Women's Week, you will be emphasizing women's contribution to the growth of the next generation. The League of Women Voters also believes that women -- and all citizens -- must continually strive to make this a better world, not just for themselves, but for those who come after.

Each generation must offer its best to the next, and by these endeavors the growth of the world can be measured by the growth of the child.

We wish you success and congratulations in your endeavors.

Sincerely,

Mrs. Robert J. Phillips
President

THE NATIONAL FEDERATION OF BUSINESS AND
PROFESSIONAL WOMEN'S CLUBS, INC.

It is with particular interest to me, and to the members of the National Federation of Business and Professional Women's Clubs, Inc., that your country is commemorating the granting of suffrage to Japanese women. Our organization represents the United States in the International Federation of Business and Professional Women's Clubs, of which Japan also is a member.

Your Women's Week celebration carries a theme of great importance to all of us in the free world -- "Women's contribution to the growth of the next generation."

With best wishes for a successful "Women's Week" meeting, April 12-15, I am

Sincerely,

Fannie Hardy
President

NATIONAL COUNCIL OF WOMEN
OF THE UNITED STATES, INC.

We in the National Council of Women of the United States have learned with much interest of your plans for the celebration of the 13th Women's Week to be held in Tokyo April 10-16. Nothing, in our view, could be more important than your theme "Women's Contribution to the Growth of the Next Generation".

We send you our congratulations for the splendid work of the Women's and Minors' Bureau in the past and our belief and hope that women in Japan will grow from strength to strength.

With all good wishes,

Sincerely yours,

Mrs. Yarnall Jacobs
President

QUOTA CLUB OF LOS ALTOS

The Quota Club of Los Altos extends hearty congratulations to you and the women of Japan for all that you have already accomplished in improving the status of women in your country.

Since Quota International is particularly interested in service to girls and women and is dedicated to their advancement, we are deeply interested in your Women's Week.

We extend our best wishes for much success as you work on "Women's contribution to the growth of the next generation."

Sincerely yours,

Frances N. Woodward
President
Quota Club of Los Altos

NATIONAL BOARD OF THE YOUNG WOMEN'S

CHRISTIAN ASSOCIATION OF THE U.S.A.

The National Board of the YWCA of the U.S.A. sends warm greetings for the Thirteenth Women's Week which will commemorate the first voting rights of Japanese women. We note with enthusiasm your choice of the theme, "Women's Contribution to the Growth of the Next Generation."

This focus will give the women of Japan the opportunity to apply in a most significant way your great wisdom and talents, freed by recent social reforms.

The YWCA of the U.S.A. will eagerly await the findings of this meeting as will women around the world. We are united with you in concern for the well-being of the coming generations. Our congratulations and cordial good wishes,

Very sincerely yours,

Lilace Reid Barnes
President

26. UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLIC

SOVIET WOMEN'S COMMITTEE

On behalf of the women of the Soviet Union the Soviet Women's Committee sends heartfelt greetings to the women of Japan on the occasion of the anniversary of the first practice of voting of Japanese women in 1946, and wishes them further successes in their work and their public activity.

Soviet women express the hope that the motto of this Women's Week - "Women's Contribution to the Growth of the Next Generation" - will find the warmest of support among Japanese women. The problem of the upbringing of the younger generation - the Future of the Country - is dear to the heart of every mother. To bring up good, honest people who will highly value the great ideals of mankind - Peace, Progress, the Friendship of Nations - is the sacred duty of the women of all countries of the world.

On behalf of Soviet women we express the firm belief that the women of Japan will bring a great contribution to the noble deed of the democratic education of the younger generation.

27. YUGOSLAVIA

COUNCIL FOR CHILD WELFARE IN YUGOSLAVIA

The Council for Child Welfare in Yugoslavia expresses its friendly greetings on the occasion of the "Women's Week" which will be held in April in Japan.

Although geographically so far away, efforts we are making in bringing up the healthy and vigorous young generation bring us closer together and our aspirations to ensure the peace for the happiness of the young people all over the world, make us even greater friends.

For the better and happier life of the nations, young generations shall be educated not only as good workers and experts, but as persons that will create within their own families and in their communities the spirit of common respect and full cooperation. They will be proud with the success achieved in their own country, but on the other hand they will be able to respect the efforts and achievements of the other people as well, so that they will be ready to create the constructive cooperation with all the nations and to give full support to the countries and nations when necessary.

Educating the youth in such a spirit will be great contribution of women, because they have, as mothers, great influence on the young generations and they are able to bring them up in the spirit of love, understanding and democracy. In order to realise this heavy task, they have to be constructive persons with progressive ideas and necessary knowledge.

Aware of the responsibility of women and mothers, our society and social organisations give full attention to the education of women in order to enable them to carry out the generous task of bringing up the young generations.

Convince that our common ideas manifested in this work of participation in creating a better society, we are sending our cordial regards and best wishes for further success.

WOMEN'S ASSOCIATION OF YUGOSLAVIA

It is a great privilege for me to address the noble gathering of the National Women's Conference here today.

The theme for this year's Women's Week on the "women's contribution to the growth of the next generation" has got a special significance not only in Japan but all over the world. The contrast and conflicts between the older generation and the coming one has come more abruptly and vividly to the surface than ever before. Therefore the conflict of generations must have deeper roots and reasons than just the transition from one generation to another. There are social changes going on all over the world, changes which are due to appearances of new phenomena which did not exist before. This has been going on also in my country - Yugoslavia, where we have realized that there must be some new guidance given to younger generations, new ethics and morals based on actual conditions without destroying the old traditions of the role of family and the importance of women participation in this process. Many women's organizations and councils are taking care of the problem of the new generation and trying to find solutions based on actual circumstances together with new requirements of the society as a whole. It is the question how to bring up and educate a healthy new generation, and by saying this I do not mean only physically healthy, but more healthy in morals, in ethics and in their outlook to the life as such their responsibility to the society and their duty towards the future which will be theirs.

In this scheme it is then quite easy to fit in the women's contribution to the growth of youth, because after all, this youth are their sons and daughters and by bringing them up, with the common goal in mind, they share an important role in this development. Consequently it is, therefore, necessary already now for the women actively to participate in the public life, to engage themselves in social activities of the society, to be an active member of the organizations for youth and social welfare

in order to be able to transfer the meaning of new changes and the goal ahead to future of their own breed and to others. In such a way the woman brings ideas and ethics into the family of her own which she is preserving carefully as the basis for a healthy growth for the future generations. In this way also the family has got a new meaning.

I would like to ask you to excuse my rather lengthy statement but I felt that something should be said on this occasion on such an important question before us. I would like to congratulate to the organizers of this conference on the appropriate theme of this conference, a theme which cannot be a slogan for a week but for all women's activity in the future. Only a healthy growth of future generations based on ethical and proper education in humanity can bring us an assurance that peace can be preserved and a better understanding among nations created.

I thank you once again for the invitation on this occasion and I wish to the conference the best success.

(Mrs.) Kos
Member of Women's
Association of Yugoslavia

28. INTERNATIONAL ORGANIZATIONS

INTERNATIONAL COUNCIL OF WOMEN

We are always most interested in the work you are carrying on and we appreciate your keeping us informed of your activities.

Madame Lefauchaux, President of the International Council of Women, has asked me to request that you extend her most sincere best wishes to the participants in the 13th Women's Week and to express her desire for the total success of your undertaking.

Most sincerely,

C. Pomonti
Executive Secretary

INTERNATIONAL FEDERATION
OF BUSINESS AND PROFESSIONAL WOMEN

On this 13th Anniversary of the granting of the vote to the women of Japan, I send you greetings and good wishes from the President and Members of the International Federation of Business and Professional Women.

The ties of friendship between your country and our Federation have been increased through the establishment of the Japanese Federation of Business and Professional Women.

The date of Women's Week coincides with the National Equal Pay Week in Perth. As Chairman of the Committee in Western Australia, I shall not fail to let the public know that Japan is ahead of Australia in this regard.

I congratulate you on the progress made by the women of Japan and wish you a very successful celebration of Women's Week.

Yours sincerely,

Jean M. Randall
Vice President & Membership
Chairman

INTERNATIONAL FEDERATION OF WOMEN LAWYERS

Our dear and beloved Judge Florence E. Allen, has referred your letter to Miss Ardent, of the Christian Science Monitor, to us.

Since we are interested in a vital sort of way, with progressive movements concerning women, we are most pleased with your campaign, for the improvement of the Status of Women in Japan. Only last year, our Federation visited in Tokyo, and had conferences in Tokyo concerning the Status of Women. Our Federation has consultative status in the United Nations, and we are actively engaged in the United Nations program on the Status of Women's level, together with the International Labor Organization.

The Women of the United States, within our realm of information, are most interested in your campaign. We herewith send you, in behalf of our Federation, the best of good wishes on obtaining your objective. We think the scope of your endeavor to better the conditions and status of women and children throughout the world, and in particular your beautiful country of Japan, is most commendable.

While in Japan, I, in particular, was impressed with the activity of your women, in promoting health, education, and progressive legislation, elevating the respect and esteem for the endeavors of women.

Congratulations and best wishes. May your campaign earn its just reward; and may your women leaders go forward towards their ultimate goal.

Again, with best wishes from all our 1500 members in 64 countries of the world, I am

Sincerely yours,

Ida M. Greenblatt
Treasurer

日本婦人へのメッセージ

—第十三回婦人週間を祝つて—

昭和36年6月発行

発行者 労働省婦人少年局

印刷者 東京都千代田区神田
司町2～17

盛女社 電話(231)5007番